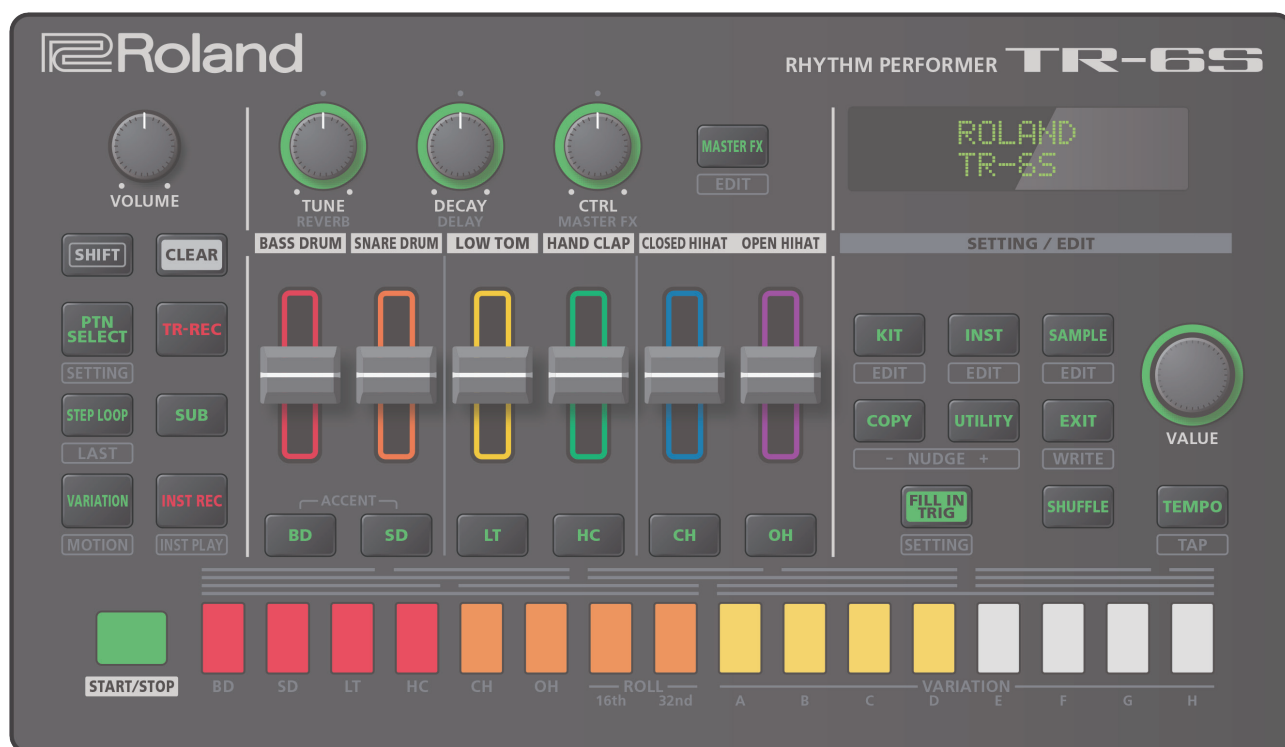




バージョンの確認方法

このマニュアルは、「バージョン 1.50」以降のプログラムに対応したものです。
TR-6S のシステム・プログラムのバージョンをチェックしてください。

1. **[UTILITY]** ボタンを押します。
設定画面が表示されます。
2. **[VALUE]** つまみで **[INFORMATION:Version]** を選びます。
3. **[VALUE]** つまみを押します。
ディスプレイに現在のバージョンが表示されます。

INFO:VERSION
Version 1.10

※ 最新バージョンになっていたときは、アップデートの必要はありません。

システム・アップデート

このマニュアルは、「バージョン 1.50」以降のプログラムに対応したものです。
システム・アップデートについて詳しくは下記の URL をご覧ください。

<https://www.roland.com/jp/support/>

1. Support メニューの「ダウンロード」を選びます。
2. 製品名「TR-6S」を選びます。
3. 「TR-6S システム・プログラム」を選びます。

目次

各部の名称とはたらき	4
◇ トップ・パネル	4
◇ フロント・パネル	5
◇ ボトム・パネル (本体裏面)	5
電池を入れる	5
◇ リア・パネル (機器の接続)	6
◇ 演奏の前に	7
電源を入れる	7
電源を切る	7
SD カードをフォーマットする (SD CARD FORMAT)	7
TR-6S の概要	8
◇ パターンとは?	9
◇ キットとは?	9
◇ モーションとは?	9
基本画面	10
パターンを再生する	11
◇ パターンを再生する	11
◇ パターンを選ぶ	11
◇ バリエーションの長さを変更する (バリエーションの LAST STEP の設定)	11
特定のトラックの長さを変更する (トラックの LAST STEP の設定)	12
◇ ランダム・パターンを生成する	12
◇ パターンのインストをランダムに選択する	12
ランダム・オール・インストを生成する	12
ランダム・インストを生成する	12
◇ パターンをコピーする	12
◇ パターンを削除する	12
バリエーションを削除する	13
トラックを削除する	13
◇ バリエーションをコピーする	13
◇ フィル・インのバリエーションを選ぶ	13
フィル・インを入れる (マニュアル・トリガー)	13
一定間隔でフィル・インを入れる (オート・フィル・イン)	13
◇ トラックを消音する (ミュート)	13
◇ リバーブやディレイを調節する	13
◇ マスター・エフェクト	14
[CTRL (MASTER FX)] つまみにパラメーターを割り当てる	14
◇ [CTRL] つまみにパラメーターを割り当てる (CTRL SELECT)	14
◇ [CTRL] つまみにインストごとに別の機能を割り当てる	14
◇ テンポを変更する	14
タップ・テンポ	14
◇ 発音のタイミングを微調整する (ナッジ機能)	14
◇ 再生対象外のバリエーションに録音する	14
◇ パターンの先頭に戻す	15
◇ つまみやフェーダーの値を確認する	15
◇ つまみやフェーダーの値をロードし直す (リロード機能)	15

つまみの動きをステップに記憶する (MOTION)	16
◇ MOTION の録音／再生	16
◇ 対象を選んで MOTION を削除する	16

パターンの設定をする (パターン・セッティング)	17
◇ PTN SETTING パラメーター	17
◇ パターン／キット／システム設定を保存する (WRITE)	18
◇ パターンやキットをコピーする (COPY)	18
◇ パターンを削除する	19
バリエーションを削除する	19
トラックを削除する	19
パターンやキットをロードし直す (リロード機能)	19

ステップ・レコーディングをする (TR-REC)	20
◇ サブ・ステップ／フラムを入力する (SUB STEP)	20
◇ 弱音を入力する (WEAK BEATS)	20
◇ オルタネート音色を入力する (ALT INST)	20
◇ アクセントを指定する	20
◇ 記録したステップをトラックから消去する	20
◇ プロバビリティを設定する (PROB, SUB PROB)	20

リアルタイム・レコーディングをする (INST REC)	21
◇ サブ・ステップやフラムを演奏／録音する	21
◇ 弱音で演奏／録音する (WEAK BEATS)	21
◇ オルタネート音色を演奏／録音する (ALT INST)	21
◇ 録音したステップをトラックから消去する	21

パッドを演奏する (INST PLAY)	22
◇ サブ・ステップ／フラムを演奏する	22
◇ 弱音で演奏する (WEAK BEATS)	22
◇ オルタネート音色を演奏する (ALT INST)	22
◇ ロール演奏をする (ROLL)	22

特定のステップをループ再生にする (STEP LOOP)	23
ループ演奏をホールドする	23
ステップを連打演奏する	23
◇ ステップ・ループ・モードを解除する	23

キットの設定を変更する (KIT Edit)	24
◇ パターン／キット／システム設定を保存する (WRITE)	25

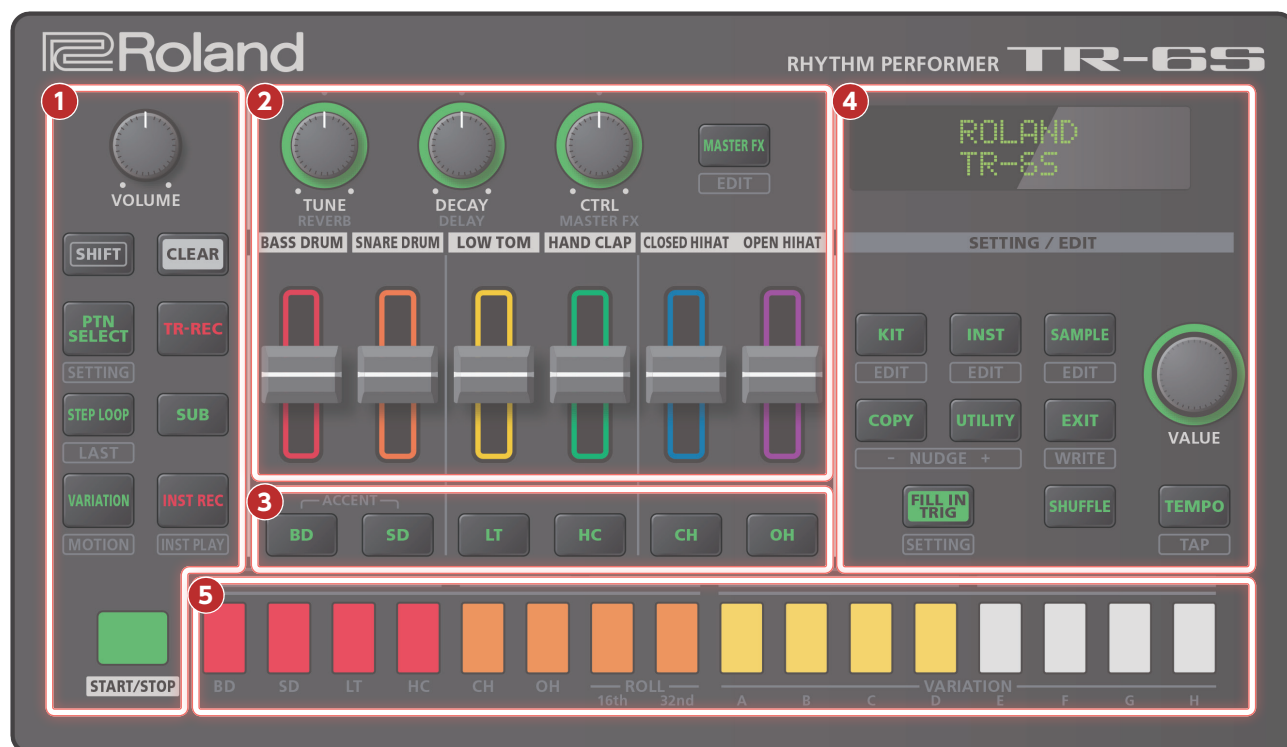
インストの音色を変更する (INST Edit)	26
--------------------------	----

パターンやキットのインポート／エクスポート	27
◇ パターンやキットのエクスポート	27
パターンのエクスポート	27
キットのエクスポート	27
◇ パターンやキットのインポート	28
パターンのインポート	28
キットのインポート	29

インポートしたユーザー・サンプルをインストに割り当てる	30
◇ ユーザー・サンプルをインポートする (SAMPLE Import) . . .	30
◇ インストにユーザー・サンプルを割り当てる (SAMPLE) . . .	31
◇ ユーザー・サンプル・トーンの設定を変更する (SAMPLE Edit)	31
◇ ユーザー・サンプルを削除する (SAMPLE Delete)	32
◇ ユーザー・カテゴリーの名前を設定する (Category Name) . .	32
◇ ユーザー・サンプル領域を最適化する (OPTIMIZE)	32
便利な機能と設定 (UTILITY)	33
◇ SYSTEM パラメーター／UTILITY メニュー	33
初期化／バックアップ／リストア	34
◇ 工場出荷時の設定に戻す (FACTORY RESET)	34
◇ SD カードにデータをバックアップする (BACKUP)	34
◇ SD カードにバックアップしたデータを復元する (RESTORE) . . .	35
他の機器との同期／録音をする	36
◇ DAW と同期する (TR-6S：スレーブ)	36
◇ MC-101 と同期する (TR-6S：マスター)	36
◇ MIDI コントローラーとして使う	36
◇ USB でパソコンと接続する	36
◇ 接続した SD カードをパソコンで管理する (STORAGE MODE)	36
エラー・メッセージ一覧	37
ショートカット一覧	38
◇ 画面表示やモードの切り替え	38
◇ 操作子の値やパラメーター名の表示	38
◇ 文字入力	38
◇ パラメーターの変更	38
◇ パターン編集	38
◇ MOTION	38
◇ サブ・ステップ／弱音／オルタネート／強弱の入力	38
◇ 再生／録音	38
◇ テンポ／ナッジ	38
◇ コピー	39
◇ 削除	39
◇ インストやトラックの編集	39
◇ [CTRL] つまみへのパラメーター割り当て	39
◇ パッドでの演奏	39
◇ リロード	39
主な仕様	40

各部の名称とはたらき

トップ・パネル



1 共通セクション 1

[VOLUME] つまみ

OUT 端子、PHONES 端子の音量を調節します。

[SHIFT] ボタン

このボタンを押しながらボタンを操作すると、関係する設定画面を呼び出すことができます。

また、このボタンを押しながら [VALUE] つまみを回してパラメーターの値を変更すると、値の変化が大きくなります。

[CLEAR] ボタン

録音した内容をインストごとに消去したり、パターンを削除したりします。

[PTN SELECT] ボタン

パターンを選びます。

[TR-REC] ボタン

パターンをステップ・レコーディングします。

[STEP LOOP] ボタン

パターンの再生中に、選んだステップをループ再生させることができます。

※ [SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、パターンの長さを設定することができます。

[SUB] ボタン

サブ・ステップを入力／演奏します。

[VARIATION] ボタン

パターンのバリエーション (A ~ H) を切り替えます。

[INST REC] ボタン

パターンをリアルタイム・レコーディングします。

※ [SHIFT] ボタンを押しながら [INST REC] ボタンを押すと INST PLAY モードになり、パッド [1] ~ [8] でリアルタイムに演奏することができます。
➡ 「パッドを演奏する (INST PLAY)」 (P.22)

[START/STOP] ボタン

パターンを再生／停止します。

※ インスト・トーンにサンプルを選んでいるとき、インスト・エディットの設定によっては発音が自動的に止まらないときがあります。パターン停止中、[SHIFT] ボタンを押しながら [START/STOP] ボタンを押すと、発音しているサンプルの音を止めることができます。

2 INST エディット・セクション

インスト・トーンの音質を調節します。

INST セレクト・ボタンが消灯しているときは、つまみでエフェクトの調整ができます。

[TUNE] つまみ

チューニング (ピッチ) を調節します。

[DECAY] つまみ

余韻の長さを調節します。

[CTRL] つまみ

CTRL SELECT (P.14) で設定した内容をコントロールします。

※ トーンによっては、効果が得られないときがあります。

[MASTER FX] ボタン

マスター・エフェクトをオン／オフします。

レベル・フェーダー

インストごとに音量を調節します。

- 3 INST セレクト [BD] [SD] [LT] [HC] [CH] [OH] ボタン**
TR-REC 中は、録音の対象にするインストを選びます。
INST 画面や INST Edit 画面では、設定を変更するインストを選びます。

4 共通セクション 2

ディスプレイ

パターン名やさまざまな設定を表示します。

10 ページ

[VALUE] つまみ

値を変更します。

値の確定や操作を実行するときはつまみを押します。

設定されたテンポに合わせてつまみが点滅します。

[KIT] ボタン

キットを選びます。

24 ページ

[INST] ボタン

インストの音色（インスト・トーン）を選びます。

26 ページ

[SAMPLE] ボタン

サンプルの中からインストの音色（インスト・トーン）を選びます。

30 ページ

[COPY] ボタン

パターン／キットをコピーします。

12 ページ

[UTILITY] ボタン

各種設定や初期化などをします。

33 ページ

[EXIT] ボタン

元の画面に戻ります。

画面によっては、実行中の機能を中断します。

[SHIFT] ボタンを押しながら [EXIT] ボタンを押すと、WRITE 画面が表示されます。

[FILL IN TRIG] ボタン

ボタンを押すとフィル・インが入ります。

[SHUFFLE] ボタン

シャッフル（跳ね）具合を調節します。

[TEMPO] ボタン

テンポを設定します。

5 パッド [1] ～ [16]

モード	説明
TR-REC	ステップごとに、インスト・トーンを鳴らすか鳴らさないかを設定します。
PTN SELECT	パターンを選びます。 [PTN SELECT] ボタンを押しながらパッド [1] ～ [8] でバンクを選べます。 [PTN SELECT] ボタンを離して、パッド [1] ～ [16] でナンバーを選べます。
INST PLAY	[1] ～ [6] (INST) でインスト・トーンを演奏します。 [7] [8] (ROLL) をいずれか（もしくは両方）を押しながら [1] ～ [6] ボタンを押すと、インスト・トーンがロール奏法になります。ROLL は 3 種類あります ([7] 16 分音符、[8] 32 分音符、[7] + [8] 64 分音符)。
INST REC	リアルタイム・レコーディングで、インスト・トーンを録音します。
STEP LOOP	ループ再生させるステップを選びます。

フロント・パネル



A PHONES 端子

ヘッドホンを接続します。

ボトム・パネル（本体裏面）

電池を入れる

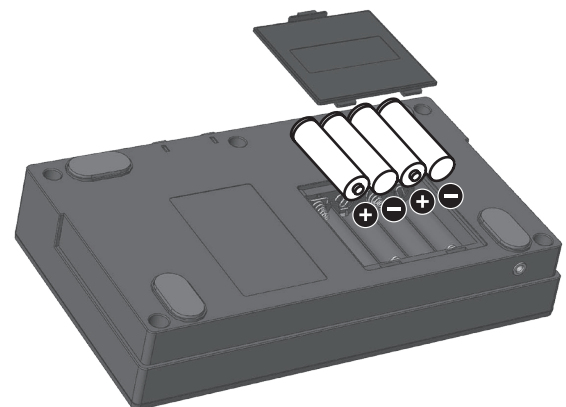
USB バス電源以外に、市販の単 3 形ニッケル水素電池またはアルカリ電池を使って使用することができます。

※ USB バス電源供給時は、電池を入れていても USB バス電源で動作します。

1. バッテリー・カバーをはずします。

※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

2. 電池の向きに注意して、電池をバッテリー・ケースに入れます。



3. バッテリー・カバーを閉めます。

※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。[安全上のご注意] [使用上のご注意] ([はじめにお読みください] チラシ) に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。

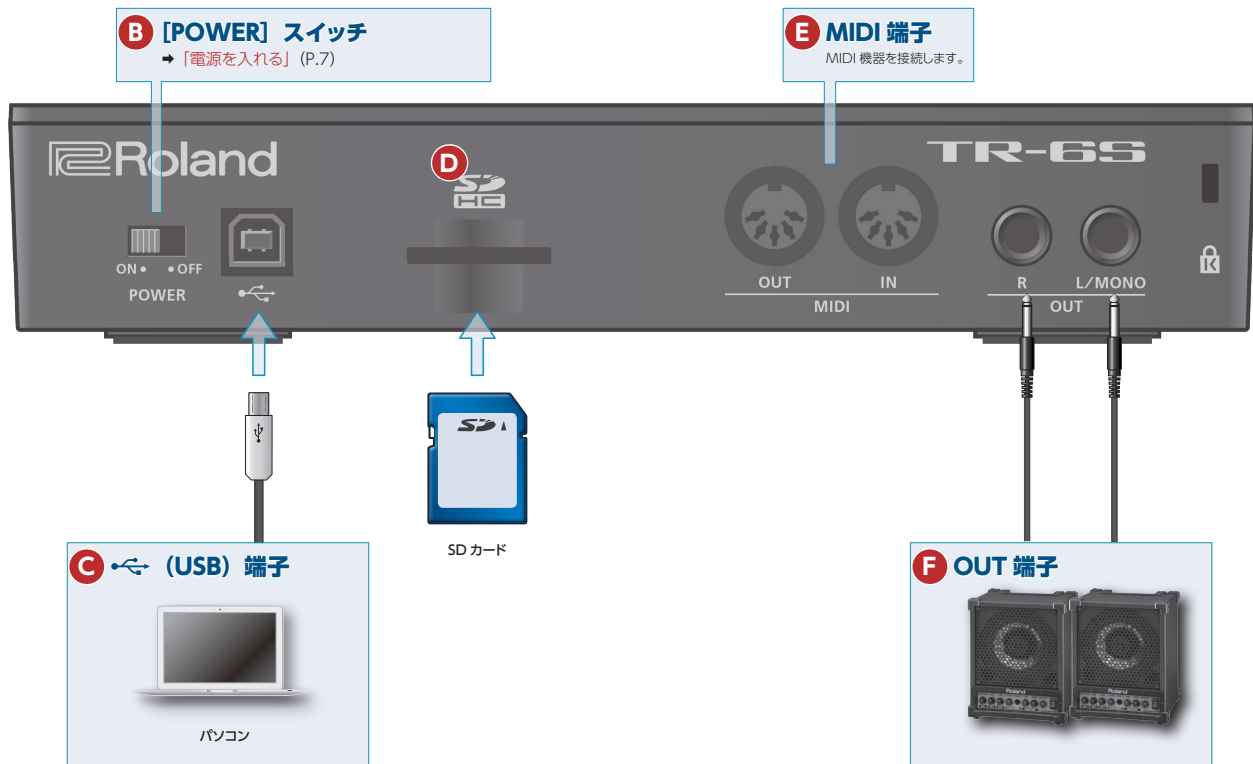
電池の交換時期

電池が消耗してくると、画面にメッセージが表示されます。

その場合は、新しい電池と交換してください。

リア・パネル (機器の接続)

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞りと、すべての機器の電源を切ってください。



B [POWER] スイッチ

電源をオン／オフします。
➡ 「演奏の前に」 (P.7)

C USB 端子

市販の USB2.0 ケーブル (B タイプ) でパソコンに接続します。USB MIDI と USB オーディオの情報をやりとりすることができます。パソコンに接続するには USB ドライバーをインストールする必要があります。USB ドライバーは、ローランドのホームページからダウンロードしてください。詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をご覧ください。

➡ <https://www.roland.com/jp/support/>

※ USB バス電源供給時は、USB バス電源で動作します。

D SD カード・スロット

SD カードには、本機の各種データ (設定、音色、サンプルなど) が保存されます。

※ SD カードへのアクセス中は、絶対に電源を切ったり、SD カードを抜いたりしないでください。

※ メモリー・カードのメーカーや種類によっては、本機で正しく録音や再生ができないことがあります。

E MIDI (OUT、IN) 端子

市販の MIDI ケーブルで MIDI 機器を接続します。

F OUT (L/MONO、R) 端子

アンプやモニター・スピーカーに接続します。

演奏の前に

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

電源を入れる

1. **TR-6S** → 接続した機器の順番で、電源を入れます。
2. 接続している機器の電源を入れて、音量を適当な位置まで上げます。

電源を切る

1. 接続した機器 → **TR-6S** の順番で、電源を切ります。

SD カードをフォーマットする (SD CARD FORMAT)

SDカードをお使いになるときは、TR-6S でフォーマットしてください。
SD カードは別売です。別途 SD カードをご用意ください。

1. **[UTILITY]** ボタンを押します。
UTILITY 画面が表示されます。
2. **[VALUE]** つまみで **[SD CARD:Format]** を選びます。



```
SD CARD:
▶Format  >
```

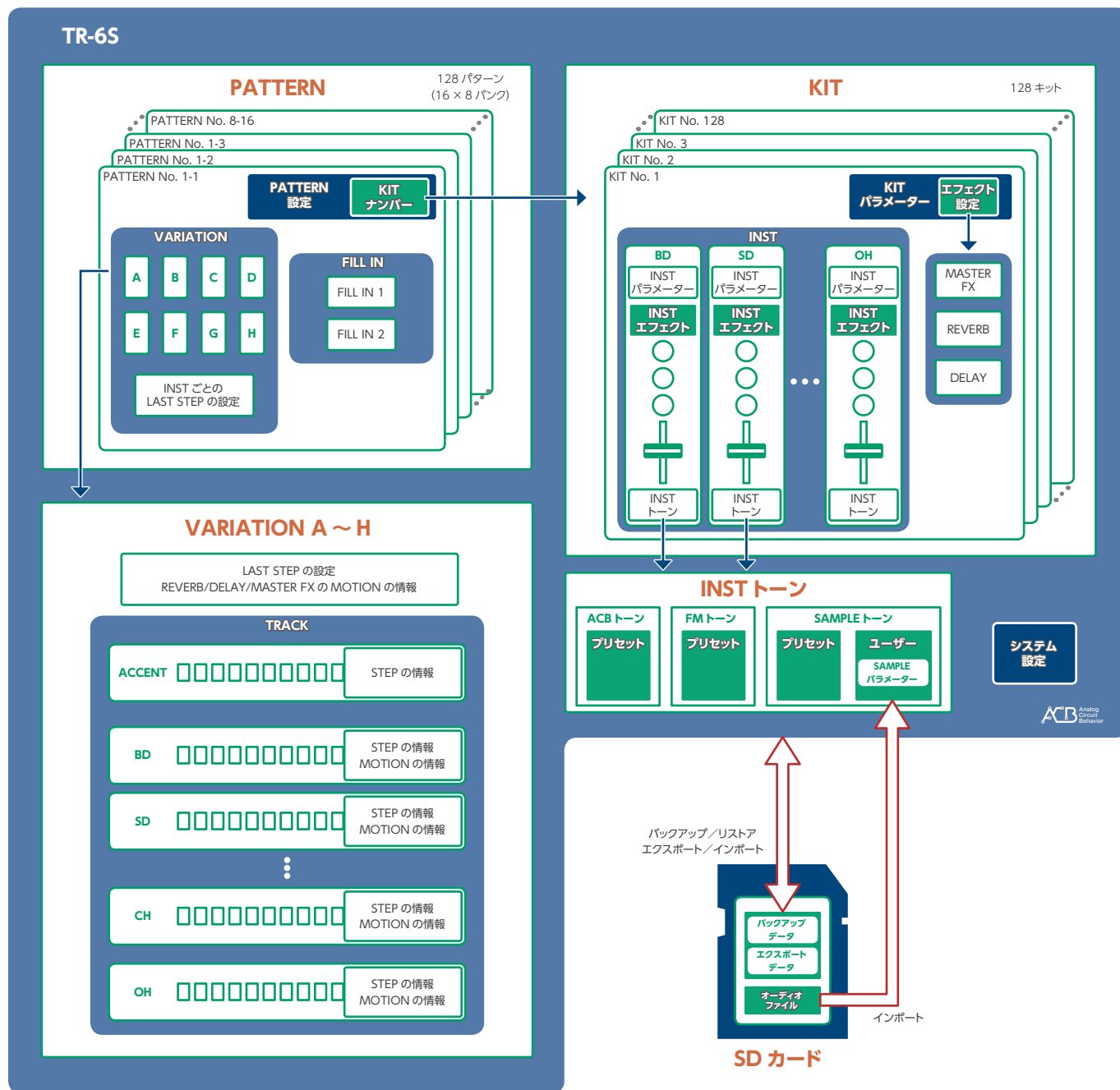
3. **[VALUE]** つまみを押します。
確認画面が表示されます。



```
Format SD Card?
[Cancel] [OK]
```

4. 実行するときは、**[VALUE]** つまみで **[OK]** を選び、
[VALUE] つまみを押します。
キャンセルするときは、**[VALUE]** つまみで **[Cancel]** を選び、
[VALUE] つまみを押します。

TR-6S の概要



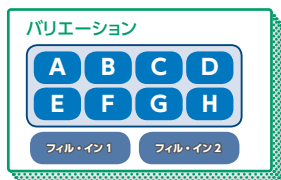
※ バックアップ/エクスポートするときは、データ（パターン/キット/システム設定）を保存してから操作してください。
エディット中のパターンやキット（[*] 表示あり）や、保存していないシステム設定はバックアップされません。

パターンとは?

TR-RECやINST-RECで記録した演奏情報を「パターン」と呼びます。TR-6Sには128個のパターン（16パターン×8バンク）と、それぞれのパターンに8つのバリエーション（A～H）と2つのフィル・インがあります。

また、バリエーション（A～H）と2つのフィル・インには、それぞれ7個のトラック（ACCENT、BD、SD、LT、HC、CH、OH）があります。

パターン 1-1 ～ 8-16

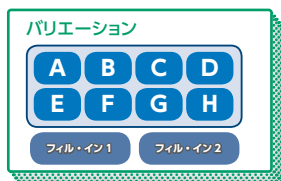


キットとは?

6種類のインストをまとめたものを、「キット」と呼びます。TR-6Sには128個のキットがあります。

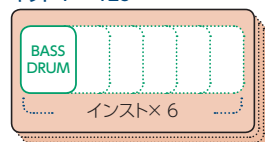
パターンは、現在選ばれているキットのインストを鳴らします。

パターン 1-1 ～ 8-16



パターンがキットのインストを鳴らす

キット 1 ～ 128



モーションとは?

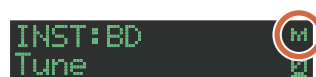
TR-6Sは、つまみやスイッチの動きを「モーション」としてパターンに録音／再生することができます。

モーションに記憶できるつまみとスイッチ

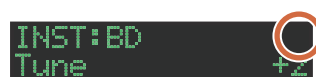
- [REVERB] つまみ
- [DELAY] つまみ
- [MASTER FX] スイッチ
- [MASTER FX] つまみ
- インストの [TUNE] つまみ
- インストの [DECAY] つまみ
- インストの [CTRL] つまみ

モーション録音時 ([INST REC] ボタン点灯時) は、つまみやスイッチを操作すると画面に「M」のアイコンが表示されます。

[INST REC] ボタン点灯時



[INST REC] ボタン消灯時



パターンやキットの保存について

エディット中のパターンやキットのパラメーターは、電源を切るまで記憶しています。別のパターンやキットを選んでから選び直してもエディット中の状態で復帰しますが、電源を入れ直すとエディット前の状態に戻ります。**パターンやキットのエディット内容を残したいときは、そのパターンやキットを保存してください。**

基本画面

PTN SELECT

再生するパターンを選びます。

バンク ナンバー
PATTERN▶ 1-01
Berlin Flyover

再生中のパターン名

録音対象として選択中の
バリエーション
A ~ H

次に再生されるパターン

NEXT PTND▶ 1-02
Groovy Night

次に再生されるパターン名

NEXT PTND▶ 1-02
1-01 ▶ 1-02

再生中のパターン

次に再生されるパターン

TR-REC

トラックごとに、音を鳴らすステップを指定して、パターンを作成します。

TR-REC▶ 1-01
Berlin Flyover

STEP LOOP

パターンの再生中に、選んだステップをループ再生させます。

STEP LOOP▶ 1-01
Berlin Flyover

LAST

([SHIFT] ボタン + [STEP LOOP] ボタン)

バリエーションやトラックの長さ (LAST STEP) を設定します。

LAST STEP▶ 1
EDIT INST

VARIATION

16 ステップボタンで、パターンのバリエーション (A ~ H) を切り替えます。

VARIATION▶ 1-01
Berlin Flyover

SUB

サブ・ステップやフラムを入力/演奏します。

SUB STEP▶ 1/2

SUB STEP▶ FLAM

INST REC

パッド [1] (BD) ~ [6] (OH) の演奏をリアルタイムに録音して、パターンを作成します。

INST REC▶ 1-01
Berlin Flyover

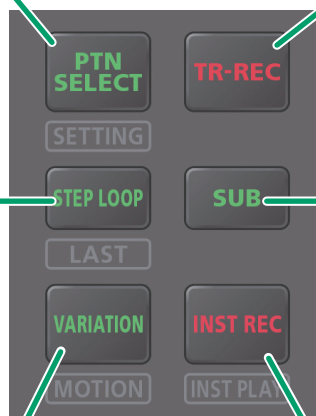
再生中のバリエーションまたは FILL IN に録音します。

INST PLAY

([SHIFT] ボタン + [INST REC] ボタン)

パッド [1] (BD) ~ [6] (OH) をリアルタイムに演奏します。

INST PLAY▶ 1-01
Berlin Flyover



パターンを再生する

パターンを再生する

1. **[START/STOP]** ボタンを押します。
2. **INST エディット・セクションの操作子を使って、音を変化させます。**
3. 停止するとき、もう一度 **[START/STOP]** ボタンを押します。

メモ

- 再生中に [SHIFT] ボタンを押しながら [START/STOP] ボタンを押すと、パターンの先頭に戻ります。
- 停止後に発音しているサンプルを止めるときは、[SHIFT] ボタンを押しながら [START/STOP] ボタンを押します。

パターンを選ぶ

1. **[PTN SELECT]** ボタンを押しながら、パッド [1] ～ [8] を押します。
バンクが選ばれます。
2. **[PTN SELECT]** ボタンを離します。
3. **パッド [1] ～ [16] でパターンを選びます。**
選んだパッドが点滅します。再生中は点灯します。
再生中に次のパターンを選ぶとパッドが点滅します。先頭ステップに戻るとパターンが切り替わります。
2 つのパッドを同時に押すと範囲を選ぶことができます。選ばれたパターンは順次再生されます。
4. **[VARIATION]** ボタンを押して点灯させ、パッド [A] ～ [H] でバリエーションを選びます。
ボタンを押しながら他のボタンを押すことで、複数選ぶことができます。
選んだバリエーションは点灯し、点灯しているボタンの A → H の順に 1 回ずつ再生します。

バリエーションの長さを変更する (バリエーションの LAST STEP の設定)

バリエーションで使用する全体のステップ数 (バリエーションの LAST STEP) をバリエーションごとに設定します。

1. **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[STEP LOOP (LAST)]** ボタンを押します。
[STEP LOOP] ボタンが点滅し、LAST STEP 画面が表示されます。
2. **[VALUE]** つまみで、設定したいバリエーションを選びます。
画面右上に設定するバリエーションが表示されます。
[H] が表示されているときに [VALUE] つまみを右に回すと、FILL IN 1、FILL IN 2 を選ぶことができます。
[SHIFT] ボタンと [STEP LOOP] ボタンを押しながらパッド [A] ～ [H] を押すと、複数のバリエーションを選ぶことができます。
3. **パッド [1] ～ [16] で最後のステップを選びます。**

バリエーションについて

1 つのパターンに 8 つのバリエーション A ～ H があります。

[VARIATION] ボタンが点灯しているときは、パッド [A] ～ [H] を押すと、再生や録音するバリエーション A ～ H を選ぶことができます。

複数のバリエーションを再生させたいときには、パッド [A] ～ [H] のいずれか 1 つを押しながら、他に再生させたいパッド [A] ～ [H] を押します。

最初に押したパッドのバリエーションが録音対象になります。

パッド [A] ～ [H] の点灯／消灯ルール

水色点灯	再生対象
水色点滅	再生中

[TR-REC] ボタン長押ししているときは、上記に加えて以下の表示になります。

紫短点滅	再生&録音中
紫点滅	再生対象かつ録音対象として選択中
赤点滅	録音対象として選択中

TR-REC 中のバリエーション選択について

[TR-REC] ボタンを押しながらパッド [A] ～ [H] を押すことで、再生対象のバリエーションを維持したまま、録音対象を選ぶことができます。

[TR-REC] ボタンを押しながら [VALUE] つまみを回して録音対象を選ぶこともできます。この場合、FILL IN 1、FILL IN 2 を選ぶことができます。

フィル・インについて

1 つのパターンには、2 つのフィル・イン専用のバリエーションがあります。また、フィル・インとしてスカッター機能を使うこともできます。

➡ 「フィル・インのバリエーションを選ぶ」 (P.13)

スカッターについて

「スカッター」は、ループ再生をステップごとに入れ替え、さらに再生方向やゲート長を変化させることで、ループ再生にデジタル的なグルーブを加えます。

1. **[FILL IN TRIG]** ボタンを押しながら **[VALUE]** つまみを回すと、ScatterDepth を調整することができます。

※ スカッターの効果は、1 周目のループにはかかりません。2 周目のループから効果がかかります。

LAST STEP の設定について

LAST STEP 画面が表示されているとき

[VALUE] つまみを回す

バリエーションの LAST STEP を設定できます。

INST セレクト・ボタンを押す

選んだトラックの LAST STEP を設定できます。

特定のトラックの長さを変更する (トラックの LAST STEP の設定)

トラックで使用するステップ数 (トラックの LAST STEP) をトラックごとに設定できます。

1. **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[STEP LOOP (LAST)]** ボタンを押します。
[STEP LOOP] ボタンが点滅し、LAST STEP 画面が表示されます。
2. **INST セレクト [BD] ~ [OH]** ボタンで、変更したいトラックを選びます。
※ ボタンを押しながら他のボタンを押すことで、複数選ぶことができます。
3. **パッド [1] ~ [16]** で最後のステップを選びます。

トラックの LAST STEP の設定を解除する

1. **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[STEP LOOP (LAST)]** ボタンを押します。
[STEP LOOP] ボタンが点滅し、LAST STEP 画面が表示されます。
2. 設定を解除したいトラックの **INST セレクト [BD] ~ [OH]** ボタンを押します。
選んだ INST セレクト・ボタンが点滅します。
設定されている LAST STEP がパッド [1] ~ [16] に表示されます。
3. **[CLEAR]** ボタンを押します。
選んだトラックの LAST STEP が削除され、パッド [1] ~ [16] が消灯し、各バリエーションに設定されている全体のステップ数になります。

メモ

トラックの LAST STEP の設定は、バリエーション A ~ H で共通の設定となります。また、トラックの LAST STEP は、バリエーションの LAST STEP より優先されます。

ランダム・パターンを生成する

ランダム・パターンを自動生成します。選んでいるパターンが変更されます。

1. **[PTN SELECT]** ボタンを押しながら **[SAMPLE]** ボタンを押します。
選ばれているバリエーションにランダム・パターンが仮生成されます。
[TR-REC] ボタンが点滅します。
2. **[TR-REC]** ボタンを押します。
仮生成されたランダム・パターンが現在のパターンに変更されます。
この状態ではパターンに保存されていません。保存したいときは WRITE 操作をしてください。
➡ 「パターン／キット／システム設定を保存する (WRITE)」 (P.25)

パターンのインストをランダムに選択する

ランダム・オール・インストを生成する

全トラックのインスト・トーンをカテゴリー内でランダムに切り替える機能です。

1. **[SAMPLE]** ボタンを押しながら、**[INST]** ボタンを押します。
2. **[SAMPLE]** ボタンを押しながら、**[UTILITY]** ボタンと **[INST]** ボタンを押します。
仮生成されたランダム・インストが KIT に保存されたインストに戻ります。

ランダム・インストを生成する

選択したトラックのインスト・トーンをカテゴリー内でランダムに切り替える機能です。

1. **[SAMPLE]** ボタンを押しながら、**INST セレクト・ボタン [BD] ~ [OH]** を押します。
2. **[SAMPLE]** ボタンを押しながら、**[UTILITY]** ボタンと **INST セレクト・ボタン [BD] ~ [OH]** を押します。
仮生成されたランダム・インストが KIT に保存されたインストに戻ります。

パターンをコピーする

1. **[COPY]** ボタンを押します。
COPY 画面が表示されます。

```
<COPY>
▶Pattern
```

2. **[VALUE]** つまみで **[Pattern]** を選び、**[VALUE]** つまみを押します。
3. **[VALUE]** つまみでコピー元を選び、**[VALUE]** つまみを押します。

```
PTN COPY: Dst
1-01 ▶▶ 1-01
```

4. **[VALUE]** つまみでコピー先を選び、**[VALUE]** つまみを押します。
確認画面が表示されます。
5. **[VALUE]** つまみで **[OK]** を選び、**[VALUE]** つまみを押します。
キャンセルするときは、[VALUE] つまみで **[Cancel]** を選び、[VALUE] つまみを押します。

パターンを削除する

1. **[PTN SELECT]** ボタンを押します。
2. **[CLEAR]** ボタンを押しながら、削除したいパターンをパッド [1] ~ [16] で選びます。

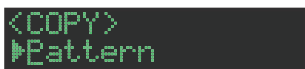
バリエーションを削除する

1. **[VARIATION]** ボタンを押します。
2. **[CLEAR]** ボタンを押しながら、削除したいバリエーションをパッド **[A] ~ [H]** で選びます。
指定したバリエーションのすべてのステップが削除されます。

トラックを削除する

1. 削除したいトラックの **INST** セレクト **[BD] ~ [OH]** ボタンを押しながら、**[CLEAR]** ボタンを押します。
選んだトラックのすべてのステップが削除されます。
選ばれているバリエーションのみが対象になります。

バリエーションをコピーする

1. **[COPY]** ボタンを押します。
COPY 画面が表示されます。
- 
2. **[VALUE]** つまみで **[Variation]** を選び、**[VALUE]** つまみを押します。
 3. **[VALUE]** つまみでコピー元のパターンを選び、**[VALUE]** つまみを押します。

パターン・ナンバー



バリエーション

4. **[VALUE]** つまみでコピー元のバリエーションを選び、**[VALUE]** つまみを押します。
5. **[VALUE]** つまみでコピー先のパターンを選び、**[VALUE]** つまみを押します。
6. **[VALUE]** つまみでコピー先のバリエーションを選び、**[VALUE]** つまみを押します。
確認画面が表示されます。
7. コピーするときは、**[VALUE]** つまみで **[OK]** を選び、**[VALUE]** つまみを押します。
キャンセルするときは、**[VALUE]** つまみで **[Cancel]** を選び、**[VALUE]** つまみを押します。

フィル・インのバリエーションを選ぶ

1. **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[FILL IN TRIG]** ボタンを押します。
2. **[VALUE]** つまみで **[Select]** を選び、**[VALUE]** つまみを押します。
3. **[VALUE]** つまみでバリエーションを選びます。
4. **[FILL IN TRIG]** ボタンを押します。
バリエーション A ~ H も FILL IN として利用できます。

メモ

FILL IN Type = SCATTER のとき、**[FILL IN TRIG]** ボタンを押しながら **[VALUE]** つまみを使って、SCATTER DEPTH をコントロールできます。

フィル・インを入れる (マニュアル・トリガー)

1. フィル・インを入りたいタイミングで、**[FILL IN TRIG]** ボタンを押します。

一定間隔でフィル・インを入れる (オート・フィル・イン)

設定した小節ごとに自動でフィル・インが入ります。

1. **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[FILL IN TRIG]** ボタンを押します。
2. **[VALUE]** つまみで **[Sw]** を選び、**[VALUE]** つまみを押します。
3. **[VALUE]** つまみで **[ON]** を選び、**[VALUE]** つまみを押します。
4. **[VALUE]** つまみで **[Cycle]** を選び、**[VALUE]** つまみを押します。
5. **[VALUE]** つまみでフィル・インを入れる小節数を選びます。
設定値: 32、16、12、8、4、2
6. **[FILL IN TRIG]** ボタンを押します。

トラックを消音する (ミュート)

選んだインストを消音 (ミュート) します。

1. **[SHIFT]** ボタンを押しながら、ミュートしたい **INST** セレクト **[BD] ~ [OH]** ボタンを押します。
ミュートされた **INST** のレベル・フェーダーが消灯します。
もう一度 **[SHIFT]** ボタンを押しながら **INST** セレクト・ボタンを押すと、ミュートが解除されます。

リバーブやディレイを調節する

INST セレクト・ボタンがすべて消灯しているときは、つまみでリバーブやディレイを調節できます。

INST セレクト・ボタンが点灯しているときは、点灯しているボタンを押してください。

対象	操作子
リバーブの音量	[REVERB] つまみ
ディレイの音量	[DELAY] つまみ
MASTER FX パラメーター	[MASTER FX] つまみ

リバーブやディレイの詳細設定については、「キットの設定を変更する (KIT Edit)」(P.24) をご覧ください。

マスター・エフェクト

INST セレクト・ボタンがすべて消灯しているときは、つまみでエフェクトを調節できます。

※ INST セレクト・ボタンが点灯している場合は、点灯しているボタンを押して消灯させます。

1. **[MASTER FX]** ボタンを押して、点灯させます。
2. **[CTRL (MASTER FX)]** つまみで、エフェクトのかかり具合を調節します。

[CTRL (MASTER FX)] つまみにパラメーターを割り当てる

1. **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[MASTER FX]** ボタンを押します。
2. **[VALUE]** つまみで **[KIT : MASTER FX > Ctrl]** を選び、**[VALUE]** つまみを押します。
3. **[VALUE]** つまみで、パラメーターを選びます。
4. **[EXIT]** ボタンを数回押します。

[CTRL] つまみにパラメーターを割り当てる (CTRL SELECT)

INST エディット・セクションの **[CTRL]** つまみにパラメーターを割り当てて、パターンを再生しながらコントロールすることができます。

1. **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[KIT]** ボタンを押します。
2. **[VALUE]** つまみで **[KIT:CTRL > Sel]** を選び、**[VALUE]** つまみを押します。
3. **[VALUE]** つまみで、パラメーターを選びます。
すべてのインストに同じパラメーターが選ばれます。
User を選ぶと、インストごとに別の機能を割り当てることができます。
4. **[KIT]** ボタンを押します。

[CTRL] つまみにインストごとに別の機能を割り当てる

1. **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[KIT]** ボタンを押します。
2. **[VALUE]** つまみで **[KIT : CTRL > BD ~ OH]** を選び、**[VALUE]** つまみを押します。
3. **[VALUE]** つまみでパラメーターを選びます。
4. **[KIT]** ボタンを押します。

メモ

あらかじめ「[CTRL] つまみにパラメーターを割り当てる (CTRL SELECT)」(P.14) の手順 3 で「User」を設定しておきます。「User」以外に設定していると、このパラメーターは表示されません。

テンポを変更する

1. **[TEMPO]** ボタンを押します。
2. **[VALUE]** つまみを回して変更します。
[SHIFT] ボタンを押しながら [VALUE] つまみを回すと、0.1 単位で調節できます。

タップ・テンポ

テンポのタップ入力ができます。

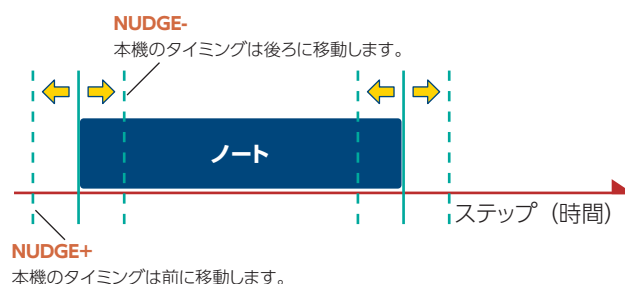
1. **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[TEMPO]** ボタンを 3 回以上押します。
ボタンを押したタイミングの平均でテンポが設定されます。

発音のタイミングを微調整する (ナッジ機能)

ノートの発音タイミングを前後にずらす機能を、「ナッジ機能」と呼びます。

ナッジ機能を使うと、パターン全体の再生タイミングが変わります。

操作	説明
[SHIFT] + [COPY] ボタン	NUDGE- 本機のタイミングは後ろに移動します。
[SHIFT] + [UTILITY] ボタン	NUDGE+ 本機のタイミングは前に移動します。



メモ

- ボタンを押した回数分だけタイミングをずらすことができます。
 - 再生中のみ有効です。停止するとタイミングは元に戻ります。
 - MIDI クロックのタイミングを変える／変えないをシステム設定で選ぶことができます。
- ➡ [MIDI TX : Tx Nudge]

再生対象外のバリエーションに録音する

再生対象のバリエーションを維持したまま、別のバリエーションに録音します (TR-REC のみ)。

1. **[TR-REC]** ボタンを押しながら、録音したいバリエーションをパッド **[A] ~ [H]** で選びます。
TR-REC に切り替わり、選んだバリエーションに録音できます。

メモ

[TR-REC] ボタンを押しながら [VALUE] つまみを回して選ぶこともできます。この場合は、FILL IN 1、FILL IN 2 を選ぶことができます。

パターンの先頭に戻る

パターンの再生中、強制的にパターンの先頭に戻すことができます。

1. **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[START/STOP]** ボタンを押します。

別のバリエーションの先頭に移動する

複数のバリエーションが選ばれているとき、その中の任意のバリエーションの先頭に移動させることができます。

1. 基本画面を **VARIATION** にします。
2. **[SHIFT]** ボタンを押しながらパッド **[A]** ~ **[H]** を押します。

つまみやフェーダーの値を確認する

再生中やエディット中に、各操作子の値を確認することができます。

1. **[SHIFT]** ボタンを押しながら、値を確認したい操作子を動かします。

画面にパラメーターと値が表示されます。
操作子を動かしても値は変わりません。

つまみやフェーダーの値をロードし直す (リロード機能)

再生中やエディット中に、各操作子の値をロードし直す（保存されている態状に戻す）ことができます。

1. **[UTILITY]** ボタンを押しながら、ロードしたい操作子を動かします。

画面にパラメーターと値が表示されます。
操作子を動かしても値は変わりません。

操作	説明
[UTILITY] + [KIT]	操作子のロード（すべて）
[UTILITY] + [INST]	操作子のロード（選択中のインスタンス）

つまみの動きをステップに記憶する (MOTION)

MOTION の録音／再生

「INST REC」が「ON」のときは、インストの「TUNE」つまみ、
「DECAY」つまみ、「CTRL」つまみの動きがステップに記憶され
ます。

「SHIFT」ボタンを押しながら「VARIATION」ボタンを押して
MOTION を「ON」にすると、記憶したつまみの動きが再生され
ます。

※ REVERB LEVEL、DELAY LEVEL、MASTER FX CTRL、MASTER FX ON も、
MOTION の状態に従って記憶／再生されます。

MOTION の設定

1. 「SHIFT」ボタンを押しながら「VARIATION」ボタンを押
します。
2. 「VALUE」つまみで「ON」を選びます。
MOTION の記憶／再生をしない場合は、「OFF」を選びます。
3. 「EXIT」ボタンを押します。

ステップを指定して値を入力

「TR-REC」ボタンが点灯中は、ステップを指定してつまみの値を入
力できます。

1. パッド [1] ～ [16] を押しながら、つまみを操作します。

SD:STEP 4
TUNE: +32

メモ

パッド [1] ～ [16] を押しながら、「UTILITY」(+) ボタンと「COPY」
(-) ボタンで入力したいパラメーターを選び、「VALUE」つま
みで調整することもできます。

対象を選んで MOTION を削除する

1. 「SHIFT」ボタンと「VARIATION」ボタンを押しながら、「VALUE」つまみを回して削除したい対象を選び、
「VALUE」つまみを押します。

ボタンから手を離すと、元の画面に戻ります。

削除対象	説明
ALL	すべての MOTION を削除します。
VARIATION A ～ H	バリエーションの MOTION を削除します。
FILL IN 1、2	FILL IN 1、2 の MOTION を削除します。
REVERB LEVEL	REVERB LEVEL の MOTION を削除します。
DELAY LEVEL	DELAY LEVEL の MOTION を削除します。
DELAY TIME	DELAY TIME の MOTION を削除します。
DELAY FEEDBACK	DELAY FEEDBACK の MOTION を削除します。
MASTER SW	MASTER SW の MOTION を削除します。
MASTER CTRL	MASTER CTRL の MOTION を削除します。

任意のつまみのみ MOTION 削除

再生対象として選ばれているバリエーションで指定した、トラック内
に記憶されているつまみの MOTION がすべて削除されます。

1. 「SHIFT」ボタンと「VARIATION」ボタンを押しながら、
つまみを操作します。

ステップを指定して MOTION を削除

「TR-REC」ボタンが点灯中は、ステップを指定してつまみの値を削
除できます。

1. 削除したい MOTION が入ったステップのパッド [1] ～ [16]
を長押しします。

MOTION / VELOCITY 入力画面が表示されます。

SD:STEP 4
TUNE: +32

2. 手順 1 のパッドを押しながら、「COPY」または「UTILITY」
ボタンを押し、削除したい MOTION を選びます。

※ 選んでいるステップ (パッド) に MOTION が入っていない場合は、値として「---」
が表示されます。

※ この状態で「VALUE」つまみを回して MOTION を入力することもできます。

3. 手順 1 のパッドを押しながら「CLEAR」ボタンを押します
指定したステップ (パッド) の MOTION が削除されます。

パターンの設定をする (パターン・セッティング)

パターンで使用するキットやテンポなどを設定します。

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [PTN SELECT] ボタンを押します。

PTN SETTING 画面が表示されます。

2. パラメーターを選びます。

2-1. [VALUE] つまみでパラメーターを選びます。

2-2. [VALUE] つまみを押します。

3. 値を変更します。

3-1. [VALUE] つまみで値を変更します。

3-2. [VALUE] つまみを押します。

パラメーター選択 (手順 2) に戻ります。

4. [PTN SELECT] ボタンを押します。

PTN SETTING 画面を抜けます。

メモ

手順 2-2 で [VALUE] つまみを押しながら回して値を変更することもできます。

PTN SETTING パラメーター

PTN SETTING : KIT

パラメーター	設定値	説明
Sw	OFF, ON	OFF : パターンを切り替えてもキットは切り替わりません。 ON : パターンを切り替えたとき、キットも PTN SETTING : KIT Number で設定したキットに切り替わります。 ※ [UTILITY] GENERAL: KitSel = PTN のときに、この設定が有効になります。
Number	001 ~ 128	PTN SETTING : KIT Sw が ON のときの、パターンが使用するキットを選びます。 ※ [UTILITY] GENERAL: KitSel = PTN のときに、この設定が有効になります。

PTN SETTING

パラメーター	設定値	説明
Tempo	40.0 ~ 300.0	パターンのテンポを設定します。 ※ [UTILITY] GENERAL: TempoSrc = PTN のとき、ここで設定したテンポで動作します。[TEMPO] ボタンを押したときにもここで設定したテンポが表示されます。 ※ [UTILITY] GENERAL: TempoSrc = SYSTEM のときは、ここで設定したテンポでは動作しません。[TEMPO] ボタンを押して設定したテンポで動作します。
Scale	8th (T)、16th (T)、32nd	スケールを選びます。
Shuffle	-128 ~ 0 ~ +127	シャッフルのかかり具合を調節します。 ※ [UTILITY] GENERAL: Shuffle = PTN のとき、この設定で動作します。 ※ [UTILITY] GENERAL: Shuffle = SYSTEM のときは、この設定では動作しません。
Flam Spacing	0 ~ 8	フラムの間隔を設定します。
ScatterType	1 ~ 10	スカッターのタイプを選びます。
ScatterDepth [FILL IN TRIG] + [VALUE]	1 ~ 10	スカッターの深さを調節します。

パラメーター	設定値	説明
MstrProb (Master Probability)	-100 ~ 0 ~ 100%	シーケンス全体のプロバビリティに、値を加算することができます。 → プロバビリティについては、「プロバビリティを設定する (PROB, SUB PROB) (P.20)」をご覧ください。 ※ 個別のプロバビリティを設定していないと効果がありません。

メモ

Master Probability は、INST セレクト [BD] ボタンを押しながら [SD] ボタンを押し、[DECAY] つまみを回して値を変更することもできます。

PTN SETTING : NAME

パラメーター	説明
NAME	パターン名 (最大 16 文字) を設定します。

文字の入力

1. [VALUE] つまみで [NAME] を選びます。

2. [VALUE] つまみを押して、文字入力画面に移ります。

3. [COPY] (左) または [UTILITY] (右) ボタンで、カーソルを移動します。



ボタン	説明
[UTILITY] ボタン	右に移動します。
[COPY] ボタン	左に移動します。

4. [VALUE] つまみで、文字を変更します。

ボタン	説明
[SHIFT] ボタン + [COPY] ボタン	1 文字消去します (Erase)。
[SHIFT] ボタン + [UTILITY] ボタン	1 文字挿入します (Insert)。
[SHIFT] ボタン + [VALUE] つまみ	大文字 / 小文字 / 数字を切り替えます。

5. 入力が終わったら、[VALUE] つまみを押します。

キャンセルするときは、[EXIT] ボタンを押します。

パターン／キット／システム設定を保存する (WRITE)

パターンやキットを保存します。

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [EXIT] ボタンを押します。

WRITE 画面が表示されます。

```
<WRITE>
▶Pattern
```

2. [VALUE] つまみで保存対象を選び、[VALUE] つまみを押します。

WRITE 画面は、「Overwrite」→「Pattern」→「Kit」→「System」の順に表示されます。

- ※「System」を選んだときは、確認画面が表示されます。手順 4 へ進んでください。
- ※「Overwrite」はパターンとキットを同時に保存します。手順 4 へ進んでください。

3. [VALUE] つまみで保存先を選び、[VALUE] つまみを押します。

確認画面が表示されます。

```
Pattern Write?
[Cancel] [OK]
```

4. 保存するときは、[VALUE] つまみで [OK] を選び、[VALUE] つまみを押します。

キャンセルするときは、[VALUE] つまみで「Cancel」を選び、[VALUE] つまみを押します。

保存操作のショートカット

動作	操作方法
パターンの保存 (PATTERN WRITE 画面)	[EXIT] ボタンを押しながら [PTN SELECT] ボタンを押します。
キットの保存 (KIT WRITE 画面)	[EXIT] ボタンを押しながら [KIT] ボタンを押します。

パターンやキットをコピーする (COPY)

パターンやキットをコピーします。

1. [COPY] ボタンを押します。

COPY 画面が表示されます。

```
<COPY>
▶Pattern
```

2. [VALUE] つまみでコピー対象を選び、[VALUE] つまみを押します。

COPY 画面は、「Pattern」→「Variation」→「Track」→「Kit」→「Inst」の順に表示されます。

3. [VALUE] つまみでコピー元を選び、[VALUE] つまみを押します。

4. [VALUE] つまみでコピー先を選び、[VALUE] つまみを押します。

確認画面が表示されます。

```
Pattern Copy?
[Cancel] [OK]
```

5. [VALUE] つまみで [OK] を選び、[VALUE] つまみを押します。

キャンセルするときは、[VALUE] つまみで「Cancel」を選び、[VALUE] つまみを押します。

コピー操作のショートカット

動作	操作方法
パターンのコピー (PATTERN COPY 画面)	[COPY] ボタンを押しながら、[PTN SELECT] ボタンを押します。
キットのコピー (KIT COPY 画面)	[COPY] ボタンを押しながら、[KIT] ボタンを押します。
インストのコピー (INST COPY 画面)	[COPY] ボタンを押しながら、[INST] ボタンを押します。
トラックのコピー	[COPY] ボタンを押しながらコピー元とコピー先の [BD] ～ [OH] ボタンを押します。

パターンを削除する

1. **[PTN SELECT]** ボタンを押します。
2. **[CLEAR]** ボタンを押しながら、削除したいパターンをパッド **[1]** ～ **[16]** で選びます。

バリエーションを削除する

1. **[VARIATION]** ボタンを押します。
2. **[CLEAR]** ボタンを押しながら、削除したいバリエーションをパッド **[A]** ～ **[H]** で選びます。
指定したバリエーションのすべてのステップを削除します。

トラックを削除する

1. **[CLEAR]** ボタンを押しながら、削除したいトラックの **INST セレクト** **[BD]** ～ **[OH]** ボタンを押します。
選んだトラックのすべてのステップを削除します。
選ばれているバリエーションのみが対象になります。

パターンやキットをロードし直す (リロード機能)

再生中やエディット中に、パターンをロードし直す（保存されている状態に戻す）ことができます。

1. **[UTILITY]** ボタンを押しながら、ロードしたい操作子を動かします。
画面にパラメーターと値が表示されます。
操作子を動かしても値は変わりません。

ショートカット	説明
[UTILITY] + [PTN SELECT]	パターンのロード
[VARIATION] 点灯時、 [UTILITY] + パッド [A] ～ [H]	バリエーションのロード
[UTILITY] + [BD] ～ [OH]	トラックのロード
[UTILITY] + [SAMPLE] + [BD] ～ [OH]	インストのロード
[UTILITY] + [SAMPLE] + [INST]	すべてのインストのロード

ステップ・レコーディングをする (TR-REC)

トラックごとに、音を鳴らすステップを指定して、パターンを作成します。パターンを再生しながらでも作成できます。

※ パターンやキットのエディット内容を残したいときは、そのパターンやキットを保存してください (P.25)。

1. [TR-REC] ボタンを押します。

TR-REC: 1-010
Berlin Flyover

2. [TR-REC] ボタンを押しながらパッド [A] ~ [H] を押して、バリエーションを選びます。

FILL IN を選ぶときは、[TR-REC] ボタンを押しながら [VALUE] つまみを回して選びます。

3. INST セレクト [BD] ~ [OH] ボタンで、記録させるトラックを選びます。

4. パッド [1] ~ [16] を押して、音を鳴らしたいステップを入力します。

5. 手順 3 ~ 4 を繰り返します。

メモ

スケールを変更することができます。詳しくは「パターンの設定をする (パターン・セッティング)」(P.17) をご覧ください。

サブ・ステップ／フラムを入力する (SUB STEP)

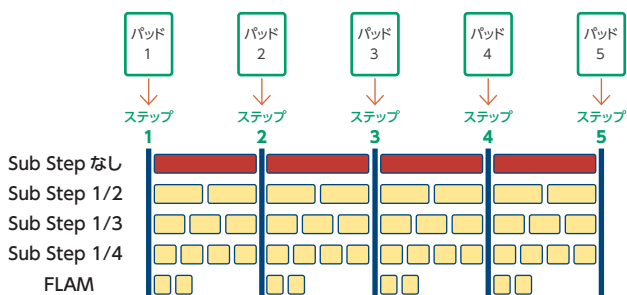
ステップを分割して連打するサブ・ステップを入力することができます。

1. [SUB] ボタンを押します。

2. サブ・ステップを設定するパッド [1] ~ [16] を押します。

ステップを分割して連打するサブ・ステップを入力することができます。[SUB] ボタンを押しながら [VALUE] つまみを回すと、分割数を 1/2、1/3、1/4、FLAM の中から選ぶことができます。

サブ・ステップ／フラム



メモ

[SUB] ボタンを押しながらパッド [1] ~ [16] を押して、サブ・ステップを入力することもできます。

弱音を入力する (WEAK BEATS)

1. [SHIFT] ボタンを押しながらパッド [1] ~ [16] を押します。

オルタネート音色を入力する (ALT INST)

707Bass1/2 のような「/」が入っている音色では、オルタネート音色を入力することができます。

1. INST セレクト [BD] ~ [OH] ボタンを押しながらパッド [1] ~ [16] を押します。

オルタネート音色

パッドには 1 つの音色が割り当てられていますが、707Bass1/2 のような「/」が入っている音色 (インスト・トーン) には 2 つ目の音色 (オルタネート音色) も割り当てられています。通常の音色とオルタネート音色は切り替えて演奏します。

アクセントを指定する

1. INST セレクト [BD] ボタンを押しながら [SD] ボタンを押します。

2. パッド [1] ~ [16] を押して、アクセントを付けるステップを選びます。

3. [TUNE] つまみで、アクセントの音量を調節します。

記録したステップをトラックから消去する

一部分だけ消去

再生中に [CLEAR] ボタンを押すと、押している間だけ INST セレクト・ボタンで選んでいるトラックのステップが、パターンから消去されます。

すべてを消去

[CLEAR] ボタンを押しながら消去したいトラックの INST セレクト・ボタンを押します。

プロバビリティを設定する (PROB、SUB PROB)

ノートを再生する確率を設定します。プロバビリティを設定することで、同じパターンを鳴らし続けていても、パターンにバリエーションをつけることができます。サブ・ステップ・プロバビリティではサブ・ステップを再生する確率を設定します。

1. パッド [1] ~ [16] を長押しします。

MOTION / VELOCITY 入力画面が表示されます。

2. 手順 1 のパッドを押しながら [COPY] ボタンまたは [UTILITY] ボタンを押して、PROB または SUB PROB を選びます。

※ 選んでいるステップ (パッド) に PROBABILITY が入っていない場合は、値として「---」が表示されます。

3. [VALUE] つまみで、ステップを再生する確率を設定します。

※ 手順 1 のパッドを押しながら [CLEAR] ボタンを押すと、指定したステップ (パッド) の PROBABILITY が削除されます。

リアルタイム・レコーディングをする (INST REC)

パッド [1] (BD) ~ [6] (OH) の演奏をリアルタイムに録音して、パターンを作成します。選んでいるパターンが変更されます。

各種つまみ操作も MOTION として記録されます。

※ パターンやキットのエディット内容を残したいときは、そのパターンやキットを保存してください (P.25)。

1. **[VARIATION]** ボタンを押して点灯させ、パッド **[A]** ~ **[H]** で録音したいバリエーションを選びます。
2. **[INST REC]** ボタンを押します。



3. **[START/STOP]** ボタンを押して、録音を開始します。
4. パッド **[1]** (BD) ~ **[6]** (OH) を演奏します。

※ INST エディット・セクションの [TUNE] つまみ、[DECAY] つまみ、[CTRL] つまみの操作を記録することができます。

サブ・ステップやフラムを演奏／録音する

サブ・ステップやフラムを演奏／録音します。

1. **[SUB]** ボタンを押します。
2. サブ・ステップやフラムを演奏／録音するパッド **[1]** (BD) ~ **[6]** (OH) を押します。

メモ

[SUB] ボタンを押しながら [VALUE] つまみを回すと、分割数を 1/2、1/3、1/4、FLAM の中から選ぶことができます。

[SUB] ボタンを押しながらパッド [1] (BD) ~ [6] (OH) を押して、サブ・ステップ／フラムを演奏することもできます。

弱音で演奏／録音する (WEAK BEATS)

1. **[SHIFT]** ボタンを押しながらパッド **[1]** (BD) ~ **[6]** (OH) を押します。

弱音で演奏／録音できます。

オルタネート音色を演奏／録音する (ALT INST)

707Bass1/2 のような「/」が入っている音色では、オルタネート音色を演奏／録音することができます。

1. INST セレクト **[BD]** ~ **[OH]** ボタンを押しながら、パッド **[1]** (BD) ~ **[6]** (OH) を押します。

録音したステップをトラックから消去する

一部分だけ消去

再生中に [CLEAR] ボタンを押すと、押している間だけ INST セレクト [BD] ~ [OH] ボタンで選んでいるトラックのステップが、パターンから消去されます。

すべてを消去

消去したいトラックの INST セレクト [BD] ~ [OH] ボタンを押しながら、[CLEAR] ボタンを押します。

パッドを演奏する (INST PLAY)

パッド [1] (BD) ～ [6] (OH) をリアルタイムに演奏できます。
演奏によってパターンは変更されません。

1. **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[INST REC]** ボタンを押します。

[INST REC] ボタンが緑色に点滅します。

```
INST PLAY: 1-010  
Berlin Flyover
```

2. パッド [1] (BD) ～ [6] (OH) を演奏します。

サブ・ステップ／フラムを演奏する

サブ・ステップやフラムを演奏します。

1. **[SUB]** ボタンを押します。
2. サブ・ステップ／フラムを演奏するパッド [1] (BD) ～ [6] (OH) を押します。

メモ

[SUB] ボタンを押しながら [VALUE] つまみを回すと、分割数を 1/2、1/3、1/4、FLAM の中から選ぶことができます。
[SUB] ボタンを押しながらパッド [1] (BD) ～ [6] (OH) を押して、サブ・ステップ／フラムを演奏することもできます。

弱音で演奏する (WEAK BEATS)

1. **[SHIFT]** ボタンを押しながらパッド [1] (BD) ～ [6] (OH) を押します。
弱音で演奏できます。

オルタネート音色を演奏する (ALT INST)

707Bass1/2 のような「/」が入っている音色では、オルタネート音色を演奏することができます。

1. **INST セレクト** **[BD]** ～ **[OH]** ボタンを押しながら、パッド [1] (BD) ～ [6] (OH) を押します。

ロール演奏をする (ROLL)

インスト・トーンをロール演奏します。

1. パッド [7] ～ [8] を押しながらパッド [1] (BD) ～ [6] (OH) を押します。
インスト・トーンのロール演奏ができます。
また、[SHIFT] ボタンと [INST REC] ボタンとパッド [7] ～ [8] を押すとロール機能がホールドされます。ホールドを解除するときは、パッド [7] ～ [8] を押します。

ロールの速さ

パッド	説明
パッド [7]	16 分音符
パッド [8]	32 分音符
パッド [7] + [8]	64 分音符

特定のステップをループ再生にする (STEP LOOP)

パターンの再生中に、選んだステップをループ再生させることができます。

選んだステップで鳴らすインストが、すべてループ再生になります。

1. **[START/STOP]** ボタンを押して、パターンを再生します。

2. **[STEP LOOP]** ボタンを押します。

[STEP LOOP] ボタンが点灯し、ステップ・ループ・モードになります。

3. **ループ再生させたいステップのパッド [1] ~ [16] を押します。**

選んだステップのループ再生が始まります。

パッド [1] ~ [16] から指を離すと、パターンの再生に戻ります。

ループ演奏をホールドする

指を離してもステップのループ再生を続けることができます。

1. **[STEP LOOP] ボタン、または INST セレクト [BD] ~ [OH] ボタンを押しながら、パッド [1] ~ [16] を押します。**

指を離してもループ演奏が続きます。

2. **ループを解除するときは、[STEP LOOP] ボタンかいずれかのパッドを押します。**

ステップを連打演奏する

選んだステップを分割して連打演奏することができます。

1. **ループ再生させたいステップのパッド [1] ~ [16] を押します。**

選んだステップのループ再生が始まります。

2. **ループ再生されている状態で [VALUE] つまみを回すか、[SUB] ボタンを押します。**

選んだステップを分割して連打演奏させることができます。

分割数は、「1 (連打無し)」→「1/2 (2 連打)」→「1/4 (4 連打)」の順番で変化します。

3. **パッド [1] ~ [16] から指を離します。**

パターンの再生に戻ります。

※ 分割数は、パッド [1] ~ [16] から指を離すと「1 (連打無し)」にリセットされます。

ステップ・ループ・モードを解除する

[PTN SELECT]、[TR-REC]、[INST REC]、[VARIATION] のいずれかのボタンを押します。

キットの設定を変更する (KIT Edit)

キットを選ぶ (KIT)

キットを選びます。

1. [KIT] ボタンを押して、点灯させます。

KIT 画面が表示されます。



エディット中のキットは、キット・ナンバーの左側に「*」が付きます。

2. [VALUE] つまみで、キットを選びます。

3. もう一度 [KIT] ボタンを押します。

[KIT] ボタンが消灯して、KIT 画面を抜けます。

キットをコピーする (KIT COPY)

1. [COPY] ボタンを押しながら [KIT] ボタンを押します。

KIT COPY 画面が表示されます。



2. [VALUE] つまみでコピー元を選び、[VALUE] つまみを押します。

3. [VALUE] つまみでコピー先を選び、[VALUE] つまみを押します。

確認画面が表示されます。

4. コピーするときは、[VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押します。

キャンセルするときは、[VALUE] つまみで「Cancel」を選び、[VALUE] つまみを押します。

インストをグループ化する

複数のインストをグループ化して、1 つのノートで音を重ねて鳴らすことができます。

1 つのインストを「マスター・インスト」に設定し、マスター・インストに追従させたいインストを「スレーブ・インスト」に設定します。マスター・インストとスレーブ・インストに選んだインストが「インスト・グループ」になります。

インスト・グループは、以下の状態で使うことができます。

- 「TR-REC」でのステップ入力
- 「INST PLAY」でのパッド演奏
- 「INST REC」でのパッド録音

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [KIT] ボタンを押します。

2. マスター・インストにする [BD] ~ [OH] ボタンを長押しします。

INST GROUP 画面が表示されます。



3. 手順2のボタンを押しながら、スレーブ・インストにする [BD] ~ [OH] ボタンを押します。

メモ

- TR-REC 中は、グループ化されている [BD] ~ [OH] ボタンを押すと、マスター・インスト (M) の [BD] ~ [OH] ボタンが点灯し、スレーブ・インスト (S) の [BD] ~ [OH] ボタンが点滅します。
- INST PLAY / INST REC 中は、グループ化されているスレーブ・インストのパッド [BD] ~ [OH] を押しても音は鳴りません。

選択中のキットの設定を変更します。

※ キットの設定を残したいときはキットを保存してください (P.25)

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [KIT] ボタンを押します。

KIT Edit 画面が表示されます。



2. パラメーターを選びます。

2-1. [VALUE] つまみで、パラメーターを選びます。

2-2. [VALUE] つまみを押します。

パラメーター値の変更 (手順3) へ移ります。

3. 値を変更します。

3-1. [VALUE] つまみで、パラメーター値を変更します。

3-2. [VALUE] つまみを押します。

パラメーター選択 (手順2) に戻ります。

4. [KIT] ボタンを押します。

KIT Edit 画面を抜けます。

メモ

KIT パラメーターについて詳しくは、『パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。

文字の入力方法

1. [VALUE] つまみで [NAME] を選びます。

```

@KIT:NAME
▶Kit_001_____
    
```

2. [VALUE] つまみを押して、文字入力画面に移ります。

```

@KIT NAME:
Kit_001_____
    
```

操作子	説明
[VALUE] つまみ	文字を変更します。
[UTILITY] ボタン	カーソルを右に移動します。
[COPY] ボタン	カーソルを左に移動します。
[SHIFT] ボタン + [COPY] ボタン	1 文字消去します (Erase)。
[SHIFT] ボタン + [UTILITY] ボタン	1 文字挿入します (Insert)。
[SHIFT] ボタン + [VALUE] つまみ	大文字／小文字／数字を切り替えます。

3. 入力が終わったら、[VALUE] つまみを押します。

パターン／キット／システム設定を保存する (WRITE)

パターンやキットを保存します。

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [EXIT] ボタンを押します。

WRITE 画面が表示されます。

```

<WRITE>
▶Pattern
    
```

2. [VALUE] つまみで保存対象を選び、[VALUE] つまみを押します。

WRITE 画面は、「Overwrite」→「Pattern」→「Kit」→「System」の順に表示されます。

- ※「System」を選んだときは、確認画面が表示されます。手順 4 へ進んでください。
- ※「Overwrite」はパターンとキットを同時に保存します。手順 4 へ進んでください。

3. [VALUE] つまみで保存先を選び、[VALUE] つまみを押します。

確認画面が表示されます。

```

Pattern Write?
[Cancel] [OK]
    
```

4. [VALUE] つまみで [OK] を選び、[VALUE] つまみを押します。

キャンセルするときは、[VALUE] つまみで「Cancel」を選び、[VALUE] つまみを押します。

保存操作のショートカット

動作	操作方法
パターンの保存 (PATTERN WRITE 画面)	[EXIT] ボタンを押しながら [PTN SELECT] ボタンを押します。
キットの保存 (KIT WRITE 画面)	[EXIT] ボタンを押しながら [KIT] ボタンを押します。

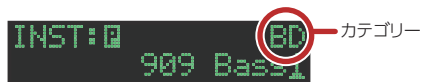
インストの音色を変更する (INST Edit)

インスト・トーンを選ぶ (INST)

選択中のキットのインスト・トーンを個別に選びます。

1. [INST] ボタンを押します。

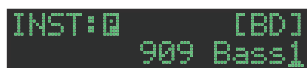
[INST] ボタンと ([TR-REC] で選ばれていた) [BD] ~ [OH] ボタンが点灯して、INST 画面が表示されます。



2. [VALUE] つまみで、インスト・トーンを選びます。

メモ

- [SHIFT] ボタンを押しながら [VALUE] つまみを回すと、カテゴリーを切り替えられます。
- [VALUE] つまみを押しながら [VALUE] つまみを回すと、インスト・トーンを 10 個単位で切り替えることができます。
- [VALUE] つまみを押すと、カテゴリー名が [] で囲まれ、カテゴリーを固定した状態でインスト・トーンを切り替えられるようになります (カテゴリー・ロック)。もう一度 [VALUE] つまみを押すと、カテゴリー・ロックが解除されます。カテゴリー・ロックはインストごとに設定可能で、その設定はキットに保存されます。



3. もう一度 [INST] ボタンを押します。

[INST] ボタンが消灯して INST 画面を抜けます。

INST 画面に表示されるアイコンについて



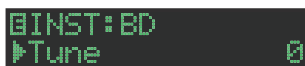
- P** プリセット: TR-6S にもともと入っているトーン
- S** サンプル: サンプルを使用しているトーン
- L** ループ: 繰り返し再生されるトーン
- U** ユーザー: インポートしたサンプルを使用しているトーン
- F** FM: FM 音源を使用しているトーン

インスト・トーンを検索する

1. [KIT] ボタンを押しながら [INST] ボタンを押します。
2. [VALUE] つまみでトーンの種類 (ACB、FM) を選び、[VALUE] つまみを押します。
3. [VALUE] つまみで、インスト・トーンを選びます。

1. [SHIFT] ボタンを押しながら、[INST] ボタンを押します。

INST Edit 画面が表示されます。



2. パラメーターを選びます。

- 2-1. [VALUE] つまみで、パラメーターを選びます。
- 2-2. [VALUE] つまみを押します。

3. 値を変更します。

- 3-1. [VALUE] つまみで、値を変更します。
- 3-2. [VALUE] つまみを押します。
パラメーター選択 (手順 2) に戻ります。

4. [INST] ボタンを押します。

INST Edit 画面を抜けます。

メモ

INST パラメーターについて詳しくは、『パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。

パターンやキットのインポート／エクスポート

パターンやキットのエクスポート

SD カードにキットやパターンをエクスポートします。

パターンのエクスポート

1. SD カードを TR-6S にセットします。
2. [UTILITY] ボタンを押して点灯させます。
Utility 画面が表示されます。
3. [VALUE] つまみで「UTILITY:Export」を選び、[VALUE] つまみを押します。

```
UTILITY:
▶Export >
```

4. [VALUE] つまみで「Pattern」を選び、[VALUE] つまみを押します。
5. [VALUE] つまみでエクスポートするパターンを選び、[VALUE] つまみを押します。
複数のパターンを選ぶことができます。
エクスポートするパターン・ナンバーの左にチェックが付きます。

```
EXPORT: v1-01▶ 1
[Berlin Flyover]
```

6. [SHIFT] ボタンを押しながら [VALUE] つまみを押して、書き出しファイル名を入力します。

```
EXPORT:NAME
tr8s_ptn .t8p
```

操作子	説明
[VALUE] つまみ	文字を変更します。
[UTILITY] ボタン	カーソルを右に移動します。
[COPY] ボタン	カーソルを左に移動します。
[SHIFT] ボタン + [COPY] ボタン	1 文字消去します (Erase)。
[SHIFT] ボタン + [UTILITY] ボタン	1 文字挿入します (Insert)。
[SHIFT] ボタン + [VALUE] つまみ	大文字／小文字／数字を切り替えます。

7. [VALUE] つまみを押します。

確認画面が表示されます。

```
Export?
[Cancel] [OK]
```

8. [VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押します。

キャンセルするときは、[VALUE] つまみで「Cancel」を選び、[VALUE] つまみを押します。
エクスポートが完了すると、ディスプレイに「Completed!」と表示され UTILITY 画面を抜けます。

キットのエクスポート

1. SD カードを TR-6S にセットします。
2. [UTILITY] ボタンを押して点灯させます。
Utility 画面が表示されます。
3. [VALUE] つまみで「UTILITY:Export」を選び、[VALUE] つまみを押します。

```
UTILITY:
▶Export >
```

4. [VALUE] つまみで「Kit」を選び、[VALUE] つまみを押します。
5. [VALUE] つまみでエクスポートするキットを選び、[VALUE] つまみを押します。
複数のキットを選ぶことができます。
エクスポートするキット・ナンバーの左にチェックが付きます。

```
EXPORT: v001▶ 1
[TR-808]
```

6. [SHIFT] ボタンを押しながら [VALUE] つまみを押して、書き出しファイル名を入力します。

```
EXPORT:NAME
tr8s_kit .t8k
```

操作子	説明
[VALUE] つまみ	文字を変更します。
[UTILITY] ボタン	カーソルを右に移動します。
[COPY] ボタン	カーソルを左に移動します。
[SHIFT] ボタン + [COPY] ボタン	1 文字消去します (Erase)。
[SHIFT] ボタン + [UTILITY] ボタン	1 文字挿入します (Insert)。
[SHIFT] ボタン + [VALUE] つまみ	大文字／小文字／数字を切り替えます。

7. [VALUE] つまみを押します。

確認画面が表示されます。

```
Export?
[Cancel] [OK]
```

8. [VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押します。

キャンセルするときは、[VALUE] つまみで「Cancel」を選び、[VALUE] つまみを押します。
エクスポートが完了すると、ディスプレイに「Completed!」と表示され UTILITY 画面を抜けます。

パターンやキットのインポート

SD カードに保存したキットやパターンをインポートします。

インポート可能なファイル形式

- TR-6S で作成したバックアップ・ファイル
- TR-6S で作成したエクスポート・ファイル

注意

インポートを実行しただけでは、キットやパターンは本体内に保存されないため、電源をオフにすると消えてしまいます。インポート終了後は必要に応じて、「パターン／キット／システム設定を保存する (WRITE)」(P.25) の手順に沿って、キットとパターンの保存をしてください。

パターンのインポート

1. SD カードを TR-6S にセットします。
2. **[UTILITY]** ボタンを押して点灯させます。
Utility 画面が表示されます。
3. **[VALUE]** つまみで **[UTILITY:Import]** を選び、**[VALUE]** つまみを押します。

```
UTILITY:
▶Import >
```

4. **[VALUE]** つまみで **[Pattern]** を選び、**[VALUE]** つまみを押します。
5. **[VALUE]** つまみでインポートするパターンが含まれるファイルのデータ形式を選び、**[VALUE]** つまみを押します。

```
PTN IMPORT:
Src BACKUP w/Kit
```

形式	説明
BACKUP w/Kit	バックアップ・ファイルからインポート (インポートするパターンが指定しているキットを含む)
BACKUP	バックアップ・ファイルからインポート (パターンのみ)
EXPORT w/Kit	エクスポート・ファイルからインポート (インポートするパターンが指定しているキットを含む)
EXPORT	エクスポート・ファイルからインポート (パターンのみ)

6. **[VALUE]** つまみでインポートするファイルを選び、**[VALUE]** つまみを押します。

```
PTN IMPORT:
tr8s_bak.bin
```

7. **[VALUE]** つまみでインポートするパターンを選び、**[VALUE]** つまみを押します。

```
SRC: 1-01(021)
Pattern Name
```

メモ

インポートするデータ形式が BACK w/Kit もしくは EXPORT w/Kit のときに **[KIT]** ボタンを押すと、現在選ばれているパターンが指定しているキット名を表示することができます。

8. **[VALUE]** つまみでインポート先を選び、**[VALUE]** つまみを押します。

```
DST: 1-01: 021
Berlin Flyover
```

9. インポートするデータ形式が BACK w/Kit もしくは EXPORT w/Kit のときは、**[VALUE]** つまみでキットのインポート先を選び、**[VALUE]** つまみを押します。

```
DST: 1-01: 021
808 Berlin
```

確認画面が表示されます。

```
Import?
[Cancel] [OK]
```

10. 実行するときは、**[VALUE]** つまみで **[OK]** を選び、**[VALUE]** つまみを押します。

キャンセルするときは、**[VALUE]** つまみで **[Cancel]** を選び、**[VALUE]** つまみを押します。

インポートが完了すると、ディスプレイに「Completed!」と表示され UTILITY 画面を抜けます。

キットのインポート

1. SD カードを TR-6S にセットします。
2. [UTILITY] ボタンを押して点灯させます。
Utility 画面が表示されます。
3. [VALUE] つまみで「UTILITY:Import」を選び、[VALUE] つまみを押します。

```
UTILITY:
▶Import >
```

4. [VALUE] つまみで「Kit」を選び、[VALUE] つまみを押します。
5. [VALUE] つまみでインポートするキットが含まれるファイルのデータ形式を選び、[VALUE] つまみを押します。

```
KIT IMPORT:
Src BACKUP
```

形式	説明
BACKUP	バックアップ・ファイルからインポート
EXPORT	エクスポート・ファイルからインポート
EXPORT (Ptn)	パターンのエクスポート・ファイルに含まれるキット・データからインポート

6. [Value] つまみでインポートするファイルを選び、[VALUE] つまみを押します。

```
KIT IMPORT:
tr8s_bak.bin
```

7. [VALUE] つまみでインポートするキットを選び、[VALUE] つまみを押します。

```
SRC: 001
TR-808
```

8. [VALUE] つまみでインポート先を選び、[VALUE] つまみを押します。

```
DST: 001
TR-808
```

確認画面が表示されます。

```
Import?
[Cancel] [OK]
```

9. 実行するときは、[VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押します。
キャンセルするときは、[VALUE] つまみで「Cancel」を選び、[VALUE] つまみを押します。
インポートが完了すると、ディスプレイに「Completed!」と表示され UTILITY 画面を抜けます。

インポートしたユーザー・サンプルをインストに割り当てる

お手持ちのオーディオ・ファイルを本体に取り込み、演奏することができます。

ユーザー・サンプルをインポートする (SAMPLE Import)

SD カードに保存したオーディオ・ファイルをユーザー・サンプルとしてインポートします。

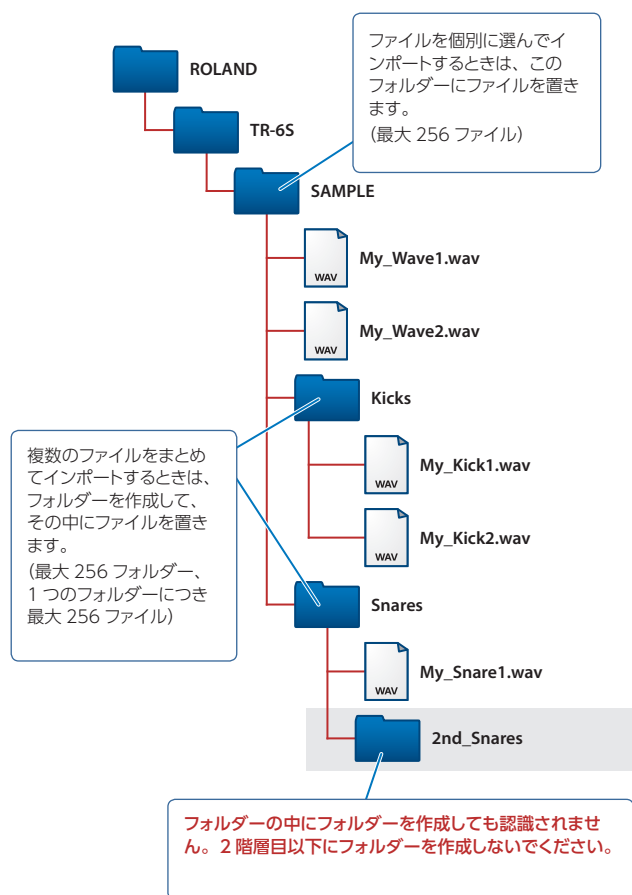
※ SD カードは TR-6S でフォーマットしてください。

※ オーディオ・ファイル 1 つあたりの最大時間は約 180 秒 (44.1kHz / MONO のとき) で、最大 400 個までインポートできます。また、メモリーの使用状況によって、最大時間と最大数が少なくなることがあります。

1. パソコンなどを使って、SD カードの以下のフォルダーにオーディオ・ファイルをコピーしておきます。

ROLAND\TR-6S\SAMPLE\

複数のオーディオ・ファイルをまとめてインポートしたいときは、上記フォルダーの中にさらにフォルダーを作成し、そこにオーディオ・ファイルを置いてください。



インポート可能なオーディオ・ファイル

ファイル形式

WAV、AIFF

サンプリング周波数

WAV : 最大 96kHz まで

AIFF : 44.1kHz、48kHz、96kHz

ビット数

8ビット、16ビット、24ビット、32ビット、32ビット・フLOAT

チャンネル数

モノ、ステレオ

2. SD カードを TR-6S にセットします。

3. [UTILITY] ボタンを押して点灯させます。

4. [VALUE] つまみで [SAMPLE:Import] を選び、[VALUE] つまみを押します。

SAMPLE IMPORT:
Src FILE

5. [VALUE] つまみで [FILE] または [FOLDER] を選び、[VALUE] つまみを押します。

項目	説明
FILE	オーディオ・ファイルを個別に選んでインポートします。
FOLDER	指定したフォルダー内のオーディオ・ファイルをまとめてインポートします。

6. [VALUE] つまみでインポートするオーディオ・ファイルまたはフォルダーを選び、[VALUE] つまみを押します。

確認画面が表示されます。

Import?
[Cancel] [OK]

メモ

- オーディオ・ファイルを選ぶと、[SAMPLE] ボタンが点滅します。この状態で [SAMPLE] ボタンを押すと、ボタンを押している間、選んでいるオーディオ・ファイルが再生されるため、音を確認しながらオーディオ・ファイルを選ぶことができます。
- フォルダーを選ぶと、その中に入っているオーディオ・ファイルをまとめてインポートすることができます。

7. 実行するときは、[VALUE] つまみで [OK] を選び、[VALUE] つまみを押します。

キャンセルするときは、[VALUE] つまみで [Cancel] を選び、[VALUE] つまみを押します。

インポートが完了すると、ディスプレイに「Completed!」と表示され UTILITY 画面を抜けます。

インストにユーザー・サンプルを割り当てる (SAMPLE)

1. ユーザー・サンプルを割り当てたい INST セレクト [BD] ~ [OH] ボタンを押して点灯させます。

2. [SAMPLE] ボタンを押します。

[SAMPLE] ボタンが点灯して、SAMPLE 画面が表示されます。



サンプルが選ばれているインストを選ぶと、サンプル名が表示されます。

3. [VALUE] つまみで、インスト・トーンに設定するユーザー・サンプルを選びます。



メモ

- SD カードからインポートしたユーザー・サンプル (U アイコン) の中から選びます。
- [BD] ~ [OH] ボタンを押すと、割り当て先を変更できます。

4. 点灯している [SAMPLE] ボタンを押します。

[SAMPLE] ボタンが消灯して、SAMPLE 画面を抜けます。

SAMPLE 画面に表示されるアイコンについて



- P プリセット: TR-6S にもともと入っているサンプル
- U ユーザー: インポートしたサンプル
- L ループ: 繰り返し再生されるサンプル

ユーザー・サンプル・トーンの設定を変更する (SAMPLE Edit)

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [SAMPLE] ボタンを押します。

SAMPLE Edit 画面が表示されます。



2. パラメーターを選びます。

2-1. [VALUE] つまみで、パラメーターを選びます。

2-2. [VALUE] つまみを押します。

3. 値を変更します。

3-1. [VALUE] つまみで、パラメーター値を変更します。

3-2. [VALUE] つまみを押します。

パラメーター選択 (手順 2) に戻ります。

注意

画面に「---」と表示されているときは、エディットできません。

4. [SAMPLE] ボタンを押します。

SAMPLE Edit 画面を抜けます。

設定を変更していたとき、サンプルを保存するか確認する画面が表示されます。

メモ

- ここで設定した内容は、同じユーザー・サンプルを使うすべてのキットで共通です。
- ACB トーンまたはプリセット・サンプル (P アイコンが表示されるサンプル) が INST に割り当てられているときは、パラメーター値が「---」と表示され、値の変更はできません。

パラメーター	設定値	説明
Start	(サンプル数、10 サンプル刻み)	再生の開始位置、終了位置を指定します。
End		
Gain	-18 ~ 0 ~ +18dB	再生ゲインを設定します。
Category	IMPORT、BD、SD、TOM、RS、HC、CH/OH、CC/RC、PERC1、PERC2、PERC3、PERC4、PERC5、FX/HIT、VOICE、SYNTH1、SYNTH2、BASS、SCALED、CHORD、OTHERS、USER01 ~ 32	トーンを選ぶ際に利用するカテゴリーを指定します。
Name	SAMPLE 名 (最大 16 文字) を設定します。	

ユーザー・サンプルを削除する (SAMPLE Delete)

1. **[UTILITY]** ボタンを押して点灯させます。
2. **[VALUE]** つまみで **[SAMPLE:Delete]** を選び、**[VALUE]** つまみを押します。
3. 削除したいユーザー・サンプルを **[VALUE]** つまみで選び、**[VALUE]** つまみを押してチェックを入れます。
4. **[VALUE]** つまみで **[Delete]** を選びます。
[Delete] は末尾のサンプルの次に表示されます。
5. **[VALUE]** つまみを押します。

確認画面が表示されます。

```
Delete?
[Cancel] [OK]
```

メモ

- 手順 3 でチェックを入れたあと、[SHIFT] ボタンを押しながら [VALUE] つまみを押して確認画面を表示させることもできます。
 - プリセット・サンプルは削除できません。
6. 実行するときは、**[VALUE]** つまみで **[OK]** を選び、**[VALUE]** つまみを押します。
キャンセルするときは、[VALUE] つまみで [Cancel] を選び、[VALUE] つまみを押します。
削除が完了すると、ディスプレイに「Completed!」と表示されUTILITY画面を抜けます。

ユーザー・カテゴリの名前を設定する (Category Name)

ユーザー・カテゴリ (USER01 ~ 32) の名前を設定します。

1. **[UTILITY]** ボタンを押して点灯させます。
2. **[VALUE]** つまみで **[SAMPLE:Category Name]** を選び、**[VALUE]** つまみを押します。
ユーザー・カテゴリ選択画面が表示されます。

```
CATEGORY:NAME▶01
```

3. **[VALUE]** つまみで名前を設定したいユーザー・カテゴリ番号 (01 ~ 32) を選び、**[VALUE]** つまみを押して、文字入力画面に移ります。
4. 名前を設定します。

操作子	説明
[VALUE] つまみ	文字を変更します。
[UTILITY] ボタン	カーソルを右に移動します。
[COPY] ボタン	カーソルを左に移動します。
[SHIFT] ボタン + [COPY] ボタン	1 文字消去します (Erase)。
[SHIFT] ボタン + [UTILITY] ボタン	1 文字挿入します (Insert)。
[SHIFT] ボタン + [VALUE] つまみ	大文字／小文字／数字を切り替えます。

5. 入力が終わったら、**[VALUE]** つまみを押します。

メモ

編集を保存するには、SYSTEM 設定の WRITE 操作を実行してください (P.25)。

ユーザー・サンプル領域を最適化する (OPTIMIZE)

ユーザー・サンプル領域を最適化します。

ユーザー・サンプルの取り込みと削除を繰り返すと、ユーザー・サンプル領域が断片化し、取り込めるサンプルが少なくなることがあります。

この機能を使うと、ユーザー・サンプル領域を最適な状態にしてサンプルが取り込めるようになります。

注意

- 実行前に必ずバックアップをしてください。
- この処理は、数十分以上かかることがあります (ユーザー・サンプルの数やサイズにより変動します)。
- 処理中は、絶対に電源を切らないでください。ユーザー・サンプルが失われる恐れがあります。
- 最適化しても、効果がないときがあります。

1. **[UTILITY]** ボタンを押して点灯させます。
2. **[VALUE]** つまみで **[SAMPLE:Optimize]** を選び、**[VALUE]** つまみを押します。

ユーザー・サンプル領域の空き容量 (Free) と断片化率 (Fragment) が表示されます。

```
Free:      100%
Fragment:  0%
```

Fragment (断片化率) の値が 0% でないときは断片化が発生しています。

キャンセルするときは、[UTILITY] ボタンを押して、UTILITY画面を抜けます。

3. **[VALUE]** つまみを押します。

確認画面が現れます。

```
Optimize?
[Cancel] [OK]
```

4. 実行するときは、**[VALUE]** つまみで **[OK]** を選び、**[VALUE]** つまみを押します。

キャンセルするときは、[VALUE] つまみで [Cancel] を選び、[VALUE] つまみを押します。

最適化が完了すると、ディスプレイに「Completed!」と表示されUTILITY画面を抜けます。

便利な機能と設定 (UTILITY)

TR-6S 本体のシステム設定やバックアップ／リストアなどをします。

1. [UTILITY] ボタンを押して点灯させます。

設定画面が表示されます。

```
GENERAL:
▶LCD Contrast 5
```

2. パラメーターを選びます。

2-1. [VALUE] つまみでパラメーターを選びます。

2-2. [VALUE] つまみを押します。

パラメーター名の右端に「▶」が表示されるものは 2-2. の操作のあと、さらに新しいパラメーター選択画面が表示されます。そのとき、2-1. と 2-2. の手順を繰り返すと手順 3 に進みます。

3. 値を変更します。

3-1. [VALUE] つまみで、パラメーター値を変更します。

3-2. [VALUE] つまみを押します。

パラメーター選択（手順 2）に戻ります。

4. 点灯している [UTILITY] ボタンを押します。

[UTILITY] ボタンが消灯して、UTILITY 画面を抜けます。

メモ

編集を保存するには、SYSTEM 設定の WRITE 操作を実行してください (P.25)。

SYSTEM パラメーター／UTILITY メニュー

GENERAL

全体の設定をします。

RELOAD

パターンやキットをロードし直します。

SAMPLE

サンプルの管理をします。

LED

LED の点灯時の設定をします。

SYNC/TEMPO

テンポや同期に関する設定をします。

MIDI

MIDI に関する設定をします。

SOUND

ローカル・スイッチのオン／オフを設定をします。

UTILITY

初期化やバックアップなどをします。

SD CARD

SD カードをフォーマットします。

INFORMATION

システムのバージョンを表示します。

メモ

SYSTEM パラメーター／UTILITY メニューについて、詳しくは『パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。

初期化／バックアップ／リストア

工場出荷時の設定に戻す (FACTORY RESET)

TR-6S を工場出荷時の設定に戻します。

注意

FACTORY RESET:ALL を実行すると、ユーザー SAMPLE トーンやユーザー・サンプルのデータも消えてしまいますので、ご注意ください。

1. [UTILITY] ボタンを押して点灯させます。

UTILITY 画面が表示されます。

2. [VALUE] つまみで「UTILITY:Factory Reset」を選びます。

```
UTILITY:
▶Factory Reset >
```

3. [VALUE] つまみを押します。

ターゲット選択画面が表示されます。

```
FACTORY RESET:
Target      ALL
```

ターゲット	説明
ALL	パターン、キットを含むすべての設定を工場出荷時の状態に戻します。
KIT	キットの設定のみを工場出荷時の状態に戻します。
PTN	パターンのみを工場出荷時の状態に戻します。

メモ

[CLEAR] ボタンを押しながら電源を入れて、ターゲット選択画面を表示させることもできます。

4. [VALUE] つまみで対象を選び、[VALUE] つまみを押します。

確認画面が表示されます。

```
Factory Reset?
[Cancel] [OK]
```

5. 実行するときは、[VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押します。

キャンセルするときは、[VALUE] つまみで「Cancel」を選び、[VALUE] つまみを押します。

6. ディスプレイに「Completed. Turn off power.」と表示されたら、TR-6S の電源を入れ直します。

SD カードにデータをバックアップする (BACKUP)

※ バックアップするときは、データ（パターン／キット／システム設定）を保存してから操作してください。エディット中のパターンやキット（[*] 表示あり）や、保存していないシステム設定はバックアップされません。

1. SD カードを TR-6S にセットします。

2. [UTILITY] ボタンを押して点灯させます。

UTILITY 画面が表示されます。

3. [VALUE] つまみで「UTILITY:Backup」を選びます。

```
UTILITY:
▶Backup >
```

4. [VALUE] つまみを押します。

BACKUP:NAME 画面が表示されます。

```
BACKUP:NAME
tr6s_bak .bin
```

メモ

すでにバックアップ・ファイルがあるときは、BACKUP:SELECT 画面が表示されます。

```
BACKUP:SELECT
Save As
```

すでにあるバックアップ・ファイルを選び [VALUE] つまみを押すと上書き保存されます。

Save As を選び [VALUE] つまみを押すと、BACKUP:NAME 画面が表示されます。

5. 必要に応じて名前を変更します。

操作子	説明
[VALUE] つまみ	文字を変更します。
[UTILITY] ボタン	カーソルを右に移動します。
[COPY] ボタン	カーソルを左に移動します。
[SHIFT] ボタン + [COPY] ボタン	1 文字消去します (Erase)。
[SHIFT] ボタン + [UTILITY] ボタン	1 文字挿入します (Insert)。
[SHIFT] ボタン + [VALUE] つまみ	大文字／小文字／数字を切り替えます。

6. 入力が終わったら、[VALUE] つまみを押します。

確認画面が表示されます。

```
Backup?
[Cancel] [OK]
```

7. 実行するときは、[VALUE] つまみで「OK」を選び、[VALUE] つまみを押します。

キャンセルするときは、[VALUE] つまみで「Cancel」を選び、[VALUE] つまみを押します。

SD カードにバックアップしたデータを復元する (RESTORE)

1. SD カードを TR-6S にセットします。
2. [UTILITY] ボタンを押して点灯させます。
UTILITY 画面が表示されます。
3. [VALUE] つまみで「UTILITY : Restore」を選びます。

```
UTILITY:  
▶Restore >
```

4. [VALUE] つまみを押します。
RESTORE 画面が表示されます。

```
RESTORE:  
tr8s_bak.bin
```

5. [VALUE] つまみでリストアするファイルを選びます。
6. [VALUE] つまみを押します。
確認画面が表示されます。

```
Restore?  
[Cancel] [OK]
```

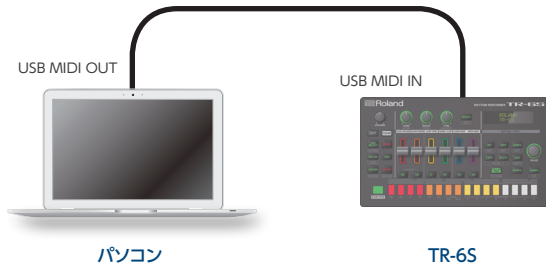
7. 実行するときは、[VALUE] つまみで「OK」を選び、
[VALUE] つまみを押します。
キャンセルするときは、[VALUE] つまみで「Cancel」を選び、
[VALUE] つまみを押します。
8. ディスプレイに「Completed. Turn off power.」と表示
されたら、TR-6S の電源を入れ直します。

他の機器との同期／録音をする

TR-6S は MIDI クロック (F8) を受信して、テンポ同期することができます。また、MIDI スタート (FA)、MIDI ストップ (FC) を受信して、スタート／ストップすることもできます。

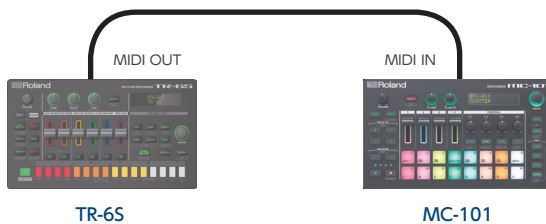
DAW と同期する (TR-6S:スレーブ)

市販の USB ケーブルでパソコンに接続することで、DAW と同期することができます。



MC-101 と同期する (TR-6S:マスター)

市販の MIDI ケーブルで接続することで、MC-101 と同期させることができます。



MIDI コントローラーとして使う

TR-6S 内蔵の音源を使わずに PC ソフトのコントローラーとして使います。

1. [UTILITY] ボタンを押して点灯させます。

設定画面が表示されます。

```
GENERAL:
▶LCD Contrast 5
```

2. [VALUE] つまみで [MIDI: Tx EditData] を選び、[VALUE] つまみを押します。

3. [VALUE] つまみで [ON] を選び、[VALUE] つまみを押します。

4. [VALUE] つまみで [SOUND: Local Sw] を選び、[VALUE] つまみを押します。

```
SOUND:
LocalSw▶ ON
```

5. [VALUE] つまみで [SURFACE] を選び、[VALUE] つまみを押します。

```
SOUND:
LocalSw▶ SURFACE
```

6. 点灯している [UTILITY] ボタンを押します。

[UTILITY] ボタンが消灯して、UTILITY 画面を抜けます。

※ パッドを押したり、MIDI を受信したりしても、TR-6S 内蔵の音源は鳴りません。

USB でパソコンと接続する

市販の USB2.0 ケーブルでパソコンに接続することで、USB MIDI でパソコンの DAW に同期したり、USB オーディオで TR-6S の各インストを個別に、DAW のトラックに録音したりすることができます。

TR-6S をお使いになるためには、パソコンで以下の URL からドライバーをダウンロードしてインストールする必要があります。

インストールについて、詳しくは以下の URL をご覧ください。

➡ <https://www.roland.com/jp/support/>

注意

ドライバーのインストールが完了する前に、TR-6S をパソコンに接続しないでください。

すでに接続しているときは、TR-6S をいったん取りはずしてください。ドライバーのインストールが完了してから、TR-6S を接続してください。

接続した SD カードをパソコンで管理する (STORAGE MODE)

ストレージ・モードで接続すると、TR-6S に接続した SD カードの内容をパソコン上で管理できます。

1. 電源を切った状態で、TR-6S とパソコンの USB 端子を市販の USB ケーブルで接続します。

2. [SAMPLE] ボタンを押しながら TR-6S の電源を入れます。

TR-6S の画面に「STORAGE MODE」と表示され、TR-6S 本体は操作できなくなります。

TR-6S に接続した SD カードがパソコンにマウントされます。

```
STORAGE MODE
```

3. 取りはずすときは、パソコンで安全な取りはずし操作をしてから TR-6S の電源を切ります。

エラー・メッセージ一覧

メッセージ	意味	対応
SDCard NotReady!	SD カードが差し込まれていません。または差し込みが不完全な状態で操作しています。	一度電源を切り、SD カードを確実に差し込んで、再度電源を投入してください。
	SD カードにあるデータを選んだあとで、SD カードが抜かれました。	
	SD カードのフォーマットが不正です。	TR-6S で SD カードをフォーマットしてください (P.7)。
Read Error!	SD カードからデータを読み込むことができません。	SD カードが正しく挿入されているか確認してください。
	ファイルが壊れています。	このファイルは使わないでください。
Write Error!	SD カードにデータを書き込むことができません。	SD カードが正しく挿入されているか確認してください。
	SD カードのフォーマットが不正です。	TR-6S で SD カードをフォーマットしてください (P.7)。
SD Card Full!	SD カードの容量が不足しています。	不要なデータを削除してください。
Sys Mem Damaged!	本体保存領域の内容が壊れている可能性があります。	ファクトリー・リセットをしてください (P.34)。それでも直らないときは、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターにお問い合わせください。
MIDI Buff Full!	非常に大量の MIDI データを受信したので処理できません。	送信する MIDI メッセージの量を減らしてください。
MIDI Offline!	MIDI IN の接続が切られました。	TR-6S の MIDI IN に接続している MIDI ケーブルに異常はないか、また MIDI ケーブルが抜けていないか確認してください。
Program Error!	TR-6S の起動ができません。正常にプログラムが読み込めません。または、システム・アップデート用のプログラムが正しくない可能性があります。	正しいプログラムを使って、再度アップデートをしてください。それでも直らないときは、お買い上げ店またはお客様相談センターにお問い合わせください。
Now Playing!	演奏中のため、その操作は実行できません。	演奏を停止してから操作してください。
Now Recording!	録音中のため、その操作は実行できません。	録音を停止してから操作してください。
Not Found!	SD カード内に対象のファイルが見つかりませんでした。	SD カード内に対象のファイルがあることを確認してください。
Not Supported!	サポートしていないフォーマットのオーディオ・ファイルです。	読み込めるようにするには、対応しているフォーマットに変換する必要があります。
Too Long Size!	サポートしているサンプル数を超えたオーディオ・ファイルです。	「サンプル数 (オーディオ・ファイルの長さ) を短くする」「サンプリング周波数を下げる」などの変換をする必要があります。
No Space!	ユーザ・サンプル領域に空きがありません。	不要なユーザ・サンプルを削除して空きを用意する必要があります。
No Tone!	ユーザ・サンプル・トーンの設定を保存するための領域に空きがありません。	不要なユーザ・サンプルを削除して空きを用意する必要があります。
!!CAUTION!! BATTERY LOW	電池の残量がありません。	電池を交換するか、USB ケーブルでパソコンに接続してください。

ショートカット一覧

画面表示やモードの切り替え

動作	ショートカット
PTN SETTING 画面を表示	[SHIFT] + [PTN SELECT]
KIT EDIT 画面を表示	[SHIFT] + [KIT]
INST EDIT 画面を表示	[SHIFT] + [INST]
SAMPLE EDIT SETTING 画面を表示	[SHIFT] + [SAMPLE]
ERASE MOTION 画面を表示	[SHIFT] + [VARIATION] を長押し
MOTION / VELOCITY 入力画面の表示	(TR-REC モードの状態) パッド [1] ~ [16] を長押し

操作子の値やパラメーター名の表示

動作	ショートカット
レベル・フェーダーの値の表示	[SHIFT] + レベル・フェーダー
つまみの値の表示	[SHIFT] + つまみ

文字入力

動作	ショートカット
1 文字消去 (Erase)	[SHIFT] + [COPY]
1 文字挿入 (Insert)	[SHIFT] + [UTILITY]
大文字 / 小文字 / 数字の切り替え	[SHIFT] + [VALUE] つまみ

パラメーターの変更

動作	ショートカット
パラメーターの値を大きく変化させる	[SHIFT] + [VALUE] つまみ
SCATTER DEPTH の変更	(FILL IN Type = SCATTER の状態で) [FILL IN TRIG] + [VALUE] つまみ

パターン編集

動作	ショートカット
PTN SETTING 画面を表示	[SHIFT] + [PTN SELECT]
ランダム・パターンの仮生成	[PTN SELECT] + [SAMPLE]
SCATTER DEPTH の変更	(FILL IN Type = SCATTER の状態で) [FILL IN TRIG] + [VALUE] つまみ
FILL IN EDIT 画面を表示	[SHIFT] + [FILL IN TRIG]

MOTION

動作	ショートカット
ERASE MOTION 画面を表示	[SHIFT] + [VARIATION] を長押し
MOTION / VELOCITY 入力画面の表示	(TR-REC モードの状態) パッド [1] ~ [16] を長押し
再生対象として選ばれているパリエーションの任意のトラックの MOTION 削除	[SHIFT] + [VARIATION] + パッド [BD] ~ [OH]
再生対象として選ばれているパリエーションの任意のつまみのみ MOTION 削除	[SHIFT] + [VARIATION] + つまみ
任意のパリエーションの MOTION 削除	[SHIFT] + [VARIATION] + パッド [A] ~ [H]

サブ・ステップ / 弱音 / オルタネート / 強弱の入力

動作	ショートカット
サブ・ステップの分割数の変更	[SUB] + [VALUE] つまみ
サブ・ステップの入力	[SUB] + [1] ~ [16]
弱音の入力 (WEAK BEATS)	[SHIFT] + [1] ~ [16]
オルタネートの入力 (ALT INST)	[BD] ~ [OH] + [1] ~ [16]

再生 / 録音

動作	ショートカット
再生対象外のパリエーションへの録音	[TR-REC] + パッド [A] ~ [H]
パターンの再生中、強制的にパターンの先頭に戻す	再生中に [SHIFT] + [START/STOP]
複数のパリエーションが選ばれているとき、その中の任意のパリエーションの先頭に移動させる	再生中に [VARIATION] ボタンを押してから、 [SHIFT] + パッド [9] ~ [16]
停止後に鳴り続けているサンプルの発音を止める	停止中に [SHIFT] + [START/STOP]

テンポ / ナッジ

動作	ショートカット
0.1 単位でのテンポ調整	[TEMPO] ボタンを押してから、[SHIFT] + [VALUE] つまみを回す
タップテンポ	[SHIFT] ボタンを押しながら [TEMPO] ボタンを 3 回以上押す
再生タイミングを前に移動 (ナッジ機能)	[SHIFT] + [COPY]
再生タイミングを後ろに移動 (ナッジ機能)	[SHIFT] + [UTILITY]

コピー

動作	ショートカット
パターンのコピー (PATTERN COPY 画面)	[COPY] + [PTN SELECT]
キットのコピー (KIT COPY 画面)	[COPY] + [KIT]
インストのコピー (INST COPY 画面)	[COPY] + [INST]
選ばれているトラックのコピー (トラックのコピー先の確認画面)	[COPY] + [BD] ~ [OH]
選ばれているバリエーションのコピー (バリエーションのコピー先の確認画面)	[COPY] + パッド [A] ~ [H]

削除

動作	ショートカット
パターンの削除	([PTN SELECT] ボタンを押して、PATTERN SELECT 画面に入ったあと) [CLEAR] + パッド [1] (BD) ~ [16] (H)
バリエーションの削除	[VARIATION] ボタンを押してから、[CLEAR] + パッド [9] ~ [16]
トラックの削除 (トラック内のステップをすべて削除)	[BD] ~ [OH] + [CLEAR]
再生対象として選ばれているバリエーションの任意のトラックのMOTION 削除	[SHIFT] + [VARIATION] + パッド [BD] ~ [OH]
再生対象として選ばれているバリエーションの任意のつまみのMOTION 削除	[SHIFT] + [VARIATION] + つまみ
任意のバリエーションのMOTION 削除	[SHIFT] ボタンを押しながら、[VARIATION] + パッド [A] ~ [H]

インストやトラックの編集

動作	ショートカット
インストのカテゴリを変更する	([INST] ボタンを押して、INST SELECT 画面に入ったあと) [SHIFT] + [VALUE] つまみ
インストのグループ化	([SHIFT] + [KIT] で KIT EDIT 画面に入ったあと) マスター・インストにする [BD] ~ [OH] を長押しし、INST GROUP 画面が表示されたらスレーブ・インストにする [BD] ~ [OH] ボタンを押します。
ランダムインストの仮生成	[SAMPLE] + [BD] ~ [OH]
ランダムオールインストの仮生成	[SAMPLE] + [INST]

[CTRL] つまみへのパラメーター割り当て

動作	ショートカット
MASTER FX [CTRL] つまみへのパラメーターの割り当て	[BD] ~ [OH] ボタンが消灯中に [KIT] + MASTER FX [CTRL] つまみ
[CTRL] つまみに割り当たっているパラメーターの表示	[KIT] + [BD] ~ [OH]
[CTRL] つまみへのパラメーターの割り当て	[BD] ~ [OH] ボタンのいずれかが点灯中に [KIT] + [CTRL] つまみ

パッドでの演奏

動作	ショートカット
サブ・ステップの演奏	[SUB] + パッド [1] (BD) ~ [6] (OH)
サブ・ステップとフラムの切り替え	[SHIFT] + [SUB]
弱音の演奏 (WEAK BEATS)	[SHIFT] + パッド [1] (BD) ~ [6] (OH)
オルタネート音色の演奏 (ALT INST)	[BD] ~ [OH] + パッド [1] (BD) ~ [6] (OH)
ロール演奏	パッド [12] (16th) ~ [13] (32nd) + パッド [1] (BD) ~ [6] (OH)
ロール演奏のホールド	[SHIFT] + [INST PLAY] + パッド [12] (16th) ~ [13] (32nd) + パッド [1] (BD) ~ [11] (OH)
ステップ・ループ演奏のホールド	(STEP LOOP の状態で) [STEP LOOP] ボタン、[BD] ~ [OH] ボタンのいずれか + ホールドさせたいパッド [1] (BD) ~ [16] (H)
ステップ・ループ演奏時にステップを連打演奏させる	(STEP LOOP の状態で) ステップ・ループさせたいパッド [1] (BD) ~ [16] (H) + [VALUE] つまみ

リロード

動作	ショートカット
パターンのロード	[UTILITY] + [PTN SELECT]
バリエーションのロード	[VARIATION] 点灯時、[UTILITY] + パッド [A] ~ [H]
トラックのロード	[UTILITY] + [BD] ~ [OH]
操作子のロード (すべて)	[UTILITY] + [KIT]
操作子のロード (選択中のインスト)	[UTILITY] + [INST]
インストのロード	[UTILITY] + [SAMPLE] + [BD] ~ [OH]
すべてのインストのロード	[UTILITY] + [SAMPLE] + [INST]

主な仕様

電源	ニッケル水素電池（単3形）× 4 アルカリ電池（単3形）× 4 USB 端子より取得（USB バス電源）
消費電流	500mA
連続使用時の電池の寿命	アルカリ電池：約 4.5 時間 ニッケル水素電池：約 5.5 時間（容量 1,900mAh 使用時） ※ 電池の仕様、容量、使用状態によって異なります。
外形寸法	224（幅）× 132（奥行）× 61（高さ）mm
質量（電池含む）	705g
付属品	「はじめにお読みください」 チラシ 保証書 アルカリ電池（単3形）× 4

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。